

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

藤田医科大学病院発第74 号
令和 6年 10月 5日
開設者名 学校法人 藤田学園
理事長 星長 清隆

藤田医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪窪1番地98
氏名	学校法人藤田学園 理事長 星長 清隆

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

藤田医科大学病院

3 所在の場所

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪窪1番地98
電話(0562) 93 - 2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	
診療実績			
神経内科:脳神経内科にて医療を提供している。 令和元年6月1日より、神経内科を脳神経内科へ変更。			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科	
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科		2小児科		3整形外科		4脳神経外科	
5皮膚科		6泌尿器科		7産婦人科		8産科	
9婦人科		10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科	
13放射線診断科		14放射線治療科		15麻酔科		16救急科	

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科			
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	脳神経内科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
51	0	0	0	1,325	1,376

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	632	9	641
歯科医師	14	0.08	14.08
薬剤師	119	4	123
保健師	0	0	0
助産師	73	0.4	73.4
看護師	1499	14.1	1513.1
准看護師	1	0	1
歯科衛生士	12	0.3	12.3
管理栄養士	27	2	29

職種	員数
看護補助者	92
理学療法士	115
作業療法士	68
視能訓練士	15
義肢装具士	0
臨床工学士	50
栄養士	9
歯科技工士	2
診療放射線技師	113

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	145
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	24	
その他の技術員	56	
事務職員	193	
その他の職員	62	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	67	眼科専門医	12
外科専門医	61	耳鼻咽喉科専門医	7
精神科専門医	14	放射線科専門医	10
小児科専門医	34	脳神経外科専門医	15
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	8
泌尿器科専門医	10	麻酔科専門医	12
産婦人科専門医	11	救急科専門医	19
		合計	285

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (白木 良一) 任命年月日 令和 3 年 9 月 1 日

令和3年9月1日より院内における医療問題対策委員会の委員長を務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外		歯科等		合計	
1日当たり平均入院患者数	1,249.9	人	7.1	人	1,257.0	人
1日当たり平均外来患者数	3,391.8	人	128.8	人	3,520.6	人
1日当たり平均調剤数	外来2,768.3		入院 1,862.0		剤	
必要医師数			325.8		人	
必要歯科医師数			7.3		人	
必要薬剤師数			59		人	
必要(准)看護師数			747		人	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	人工呼吸装置	その他の救急蘇生装置	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー
集中治療室	1,333.20 m ²	鉄筋コンクリート	68 床	有	有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	166.44	m ²	病床数	12 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	95.22		m ²	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	314.44 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、自動血球計数装置			
細菌検査室	126.37 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 質量分析装置、細菌培養・同定装置			
病理検査室	230.00 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 卓上換気装置つき実験台			
病理解剖室	51.05 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動昇降式L型解剖台			
研究室	1,157.54 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)			
講義室	1,131.27 m ²	鉄筋コンクリート	室数	9 室	収容定員	720 人
図書室	2,312.05 m ²	鉄筋コンクリート	室数	12 室	蔵書数	164,315 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	91.6	%	逆紹介率	72.4	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		27,205		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		27,711		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		7,854		人
	D: 初診の患者の数		38,270		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
稲葉 一人	いなば法律事務所		法律に関する見識者	無	1
後藤 克幸	CBCテレビ 論説室解説委員		メディアの医療安全に関する見識者	無	1
小浮 正典	豊明市長		一般市民の代表者	無	2
堀口 明彦	藤田医科大学 ばんだね病院 病院長		医療に関する学識経験者	有	1
金田 嘉清	藤田医科大学 保健衛生学部担当理事		医療に関する学識経験者	有	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
藤田医科大学病院ホームページ上にて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
先進医療の種類合計数	2
扱い患者数の合計(人)	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
プローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡による胃上皮性病変の診断 胃上皮性病変	5人
糞便微生物叢移植 再発性Clostridioides difficile関連下痢症・腸炎	0人
反復経頭蓋磁気刺激療法 うつ病 (急性期において当該療法が実施された患者に係るものであって、薬物療法に抵抗性を有するものに限る。)	0人
先進医療の種類合計	4
取扱い患者数合計(人)	5人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	仮想現実を用いた気管支ナビゲーション	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 CT画像を元に仮想空間に気管支3Dモデルを表示し、これをガイドにして気管支鏡下肺生検を行う技術			
医療技術名	傍腫瘍性抗神経抗体スクリーニング	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 リコンビナント抗原を用いた免疫プロットキットによる11種類(GAD65、Zic4、Tr、SOX1、Ma1、Ma2、Amphysin、CV2、Ri、Yo、HuD)の抗神経抗体のスクリーニング			
医療技術名	自己免疫性脳炎関連抗体スクリーニング	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 特異的抗原を発現させた細胞の間接免疫蛍光染色による6種類(NMDA、AMPA1/2、DPPX、CASPR2、LGI1、GABARB)の自己免疫性脳炎関連抗体のスクリーニング			
医療技術名	高効率血液濾過術(SHEDD-fA)	取扱患者数	112人
当該医療技術の概要 血液浄化療法における拡散、濾過、吸着の原理を有効に活用した治療である。個人用の透析機器を用いて間欠的な施行で、遠隔臓器への炎症波及を抑え、多臓器不全への進展をふさぐ治療法である。			
医療技術名	Da Vinci SP Surgical Systemを使用した腹腔鏡胃切除	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 単孔式手術支援ロボットであるDa Vinci SP Surgical Systemを用いて腎癌に対する胃切除術を行う。			
医療技術名	Hugo RAS Systemを使用した腎癌に対する腹腔鏡下胃切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 Hugo RAS Systemを用いて腎癌に対する胃切除術を行う。			
医療技術名	膿疱性乾癬の遺伝子診断	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 IL36RN遺伝子変異解析、CARD14遺伝子変異解析			
医療技術名	羊水を用いた出生前遺伝学的検査	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 妊娠中に胎児が何らかの重篤な遺伝性疾患に罹患していると思われる場合に、羊水を採取し、サンガーシーケンシング法、サザンブロット法、MLPA法、マイクロアレイ法、ターゲットエクソーム解析等による遺伝子検査を行い、原因となる遺伝子変異の有無や疾患を同定する。			
医療技術名	経膀胱ロボット支援膀胱鏡下逆流防止術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 膀胱逆流症例に対し、単孔式ロボット支援下で経膀胱的に逆流防止術を行う			
医療技術名	超高磁場3T MR装置或いは面検出器型CTでのDynamic perfusion MRIあるいはDynamic Perfusion CTによる定量的肺結節鑑別診断	取扱患者数	500人
当該医療技術の概要 肺癌などの悪性腫瘍が疑われる肺結節の鑑別診断として超高磁場3T MR装置によるDynamic contrast-enhanced perfusion MRI(ダイナミック造影灌流MRI)や面検出器型CTによるDynamic contrast-enhanced CT(ダイナミック造影灌流CT)を用いて定量的血流解析を行い、生検や治療の必要性や良・悪性鑑別診断を行う。			

医療技術名	面検出器型CTによる高時間分解能Dual-Energy CTを用いた肺血流解析による肺血栓塞栓症の診断および治療効果判定	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
肺血栓塞栓症の診断や治療効果判定として面検出器型CTを用いてDual-Energy CTを用いた血流解析を行う。			
医療技術名	酸素造影MRIによる慢性閉塞性肺疾患 (Chronic Obstructive Pulmonary Disease) の重症度評価	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
肺癌などのCOPDを有する患者の重症度評価及び呼吸機能評価として酸素造影MRIによる局所肺機能評価を行う。			
医療技術名	MRIを用いた肺癌患者の転移リンパ節診断	取扱患者数	500人
当該医療技術の概要			
肺癌患者におけるN因子診断としてShort TI Inversion Recovery法や拡散強調像を用いたリンパ節転移診断を行い、PET/CTと相補的に用いて、診断能向上を行う。			
医療技術名	全身MRIを用いた悪性腫瘍患者の病期診断	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
悪性腫瘍患者におけるM因子診断としてShort TI Inversion Recovery法や拡散強調像を用いた遠隔転移診断を行い、PET/CTと相補的に用いて、診断能向上を行う。			
医療技術名	人工知能、逐次禁じ再構成及び逐次再構成を用いた低線量CTによる画像診断と患者被曝低減	取扱患者数	150,000人
当該医療技術の概要			
人工知能、逐次禁じ再構成及び逐次再構成を用いた新たな再構成法により、画質劣化や診断能に影響することなく、低線量CTを臨床応用し、患者X被曝の提言を行い、適切な被ばく管理を行う。			
医療技術名	Compressed Sensing法による高速撮像MRIによる画像診断	取扱患者数	62,000人
当該医療技術の概要			
新たな高速撮像法であるCompressed Sensing法を用いた高速撮像MRIによるより精度の高い画像診断の提供			
医療技術名	MRIを用いた悪性腫瘍のMolecular Imagingによる画像診断	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
新たなMRIによる分子イメージング法であるCEST法、拡散強調像による肺癌および脳腫瘍の新たな悪性腫瘍の画像診断			
医療技術名	人工知能を用いたCOVID-19肺炎診断	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
人工知能を用いたCOVID-19肺炎診断			
医療技術名	腹部大動脈瘤内ポリマー充填療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
腹部大動脈瘤に対するステントグラフト手術の際にポリマーを充填を併用することにより動脈瘤の縮小を図ることができる。			
医療技術名	解離性大動脈に対する偽腔塞栓療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
解離性大動脈瘤に対して偽腔塞栓を行うことで解離性大動脈瘤の治療を血管内で行うことが可能となる。			
医療技術名	脊髄電気刺激療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
遷延性意識障害患者に対し、上位頸髄硬膜外に電極を留置して電気刺激を行うことで意識状態の改善を図る。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

取扱い患者数の合計(人)	213,540
--------------	---------

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	13	56	ベーチェット病	96
2	筋萎縮性側索硬化症	62	57	特発性拡張型心筋症	129
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	肥大型心筋症	99
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	36	60	再生不良性貧血	63
6	パーキンソン病	938	61	自己免疫性溶血性貧血	168
7	大脳皮質基底核変性症	74	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	18
8	ハンチントン病	5	63	特発性血小板減少性紫斑病	163
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	34
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	14
11	重症筋無力症	473	66	IgA 腎症	538
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	137
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	213	68	黄色靱帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多発性運動ニューロパチー	131	69	後縦靱帯骨化症	219
15	封入体筋炎	11	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クドウ・深瀬症候群	87	71	特発性大腿骨頭壊死症	87
17	多系統萎縮症	121	72	下垂体性ADH分泌異常症	36
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	87	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	314	74	下垂体性PRL分泌亢進症	7
20	副腎白質ジストロフィー	5	75	クッシング病	703
21	ミトコンドリア病	26	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	5
22	もやもや病	88	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	117
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	514
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多発性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	1
26	HTLV-1関連脊髄症	5	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	9
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	78
29	ウルリッヒ病	1	84	サルコイドーシス	522
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	392
31	ペスレムミオパチー	2	86	肺動脈性肺高血圧症	118
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	3	88	慢性血栓性肺高血圧症	108
34	神経線維腫症	19	89	リンパ脈管筋腫症	8
35	天疱瘡	7	90	網膜色素変性症	71
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	92	特発性門脈圧亢進症	6
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	7	93	原発性胆汁性胆管炎	479
39	中毒性表皮壊死症	5	94	原発性硬化性胆管炎	110
40	高安静脈炎	37	95	自己免疫性肝炎	618
41	巨細胞性動脈炎	41	96	クローン病	595
42	結節性多発動脈炎	20	97	潰瘍性大腸炎	840
43	顕微鏡的多発血管炎	105	98	好酸球性消化管疾患	54
44	多発血管炎性肉芽腫症	204	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	15
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	60	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	33	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	1	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	62	103	CFC症候群	4
49	全身性エリテマトーデス	2176	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	289	105	チャーシ症候群	3
51	全身性強皮症	200	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	74	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	734	108	TNF受容体関連周期性症候群	2
54	成人発症スチル病	58	109	非典型溶血性尿毒症症候群	4
55	再発性多発軟骨炎	10	110	ブラウ症候群	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	3	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	30
113	筋ジストロフィー	17	168	エーラス・ダンロス症候群	9
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	3	169	メンケス病	2
115	遺伝性周期性四肢麻痺	21	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	11	171	ウィルソン病	70
117	脊髄空洞症	41	172	低ホスファターゼ症	10
118	脊髄髄膜瘤	12	173	VATER症候群	4
119	アイザックス症候群	0	174	那須・ハコラ病	0
120	遺伝性ジストニア	4	175	ウィーバー症候群	1
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	53	177	ジュベール症候群関連疾患	0
123	HTRA1関連脳小血管病	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	179	ウィリアムズ症候群	3
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	14	180	ATR-X症候群	0
126	ペリー病	0	181	クルーゾン症候群	5
127	前頭側頭葉変性症	11	182	アペール症候群	4
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	27	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	15	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	2	187	歌舞伎症候群	2
133	メビウス症候群	18	188	多脾症候群	4
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	2
135	アイカルディ症候群	0	190	鯉耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	4	191	ウェルナー症候群	1
137	限局性皮質異形成	3	192	コケイン症候群	1
138	神経細胞移動異常症	3	193	ブラダー・ウィリ症候群	4
139	先天性大脳白質形成不全症	1	194	ソトス症候群	2
140	ドラベ症候群	33	195	ヌーナン症候群	12
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	17	196	ヤング・シンプソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	4	198	4p欠失症候群	3
144	レノックス・ガスター症候群	6	199	5p欠失症候群	1
145	ウエスト症候群	18	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	4
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	3
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	16	203	22q11.2欠失症候群	6
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	2
151	ラスムッセン脳炎	0	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	208	修正大血管転位症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	15	209	完全大血管転位症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	0
156	レット症候群	1	211	左心低形成症候群	2
157	スタージ・ウェーバー症候群	7	212	三尖弁閉鎖症	1
158	結節性硬化症	86	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2
160	先天性魚鱗癬	1	215	ファロー四徴症	27
161	家族性良性慢性天疱瘡	4	216	両大血管右室起始症	6
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14	217	エプスタイン病	1
163	特発性後天性全身性無汗症	2	218	アルポート症候群	17
164	眼皮膚白皮症	0	219	ギャロウェイ・モワット症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	220	急速進行性糸球体腎炎	944

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎	45	276	軟骨無形成症	4
222	一次性ネフローゼ症候群	24	277	リンパ管腫症/ゴーラム病	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
224	紫斑病性腎炎	29	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
225	先天性腎性尿崩症	4	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	9	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	4
227	オスラー病	8	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
228	閉塞性細気管支炎	15	283	後天性赤芽球癆	8
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	5	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1
230	肺胞低換気症候群	0	285	ファンconi貧血	1
231	1-アンチトリプシン欠乏症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
232	カーニー複合	0	287	エプスタイン症候群	1
233	ウォルフラム症候群	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	4
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	3	289	クロンカイト・カナダ症候群	4
235	副甲状腺機能低下症	929	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	14
236	偽性副甲状腺機能低下症	4	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	8
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	32	292	総排泄腔外反症	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	132	293	総排泄腔遺残	3
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	7	294	先天性横隔膜ヘルニア	5
240	フェニルケトン尿症	41	295	乳幼児肝巨大血管腫	11
241	高チロシン血症1型	0	296	胆道閉鎖症	88
242	高チロシン血症2型	0	297	アラジール症候群	1
243	高チロシン血症3型	0	298	遺伝性膀胱炎	17
244	メーブルシロップ尿症	4	299	嚢胞性線維症	1
245	プロピオン酸血症	31	300	IgG4関連疾患	84
246	メチルマロン酸血症	9	301	黄斑ジストロフィー	104
247	イソ吉草酸血症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	2
248	グルコーストランスporter1欠損症	3	303	アッシュー症候群	0
249	グルタル酸血症1型	4	304	若年発症型両側性感音難聴	1
250	グルタル酸血症2型	1	305	遷発性内リンパ水腫	10
251	尿素サイクル異常症	16	306	好酸球性副鼻腔炎	57
252	リジン尿性蛋白不耐症	4	307	カナバン病	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	308	進行性白質脳症	1
254	ボルフィリン症	2	309	進行性ミオクローヌステんかん	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	1	310	先天異常症候群	2
256	筋型糖原病	1	311	先天性三尖弁狭窄症	0
257	肝型糖原病	5	312	先天性僧帽弁狭窄症	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	26	313	先天性肺静脈狭窄症	1
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	3	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
260	シトステロール血症	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0
261	タンジール病	0	316	カルニチン回路異常症	1
262	原発性高カイロミクロン血症	0	317	三頭筋欠損症	2
263	脳膜黄色腫症	0	318	シトリン欠損症	12
264	無リボタンパク血症	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
265	脂肪萎縮症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
266	家族性地中海熱	16	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
267	高IgD症候群	0	322	ケチオラーゼ欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	25	324	メチルグルタコン酸尿症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	325	遺伝性自己炎症疾患	7
271	強直性脊椎炎	37	326	大理石骨病	1
272	進行性骨化性線維異形成症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	328	前眼部形成異常	3
274	骨形成不全症	12	329	無虹彩症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	6

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
331	特発性多中心性キャスルマン病	16			
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0			
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0			
334	脳クレアチン欠乏症候群	0			
335	ネフロン癆	0			
336	家族性低リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0			
337	ホモシスチン尿症	0			
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0			
339	MECP2重複症候群	0			
340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0			
341	TRPV4異常症	0			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	245
合計患者数(人)	17747

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療DX推進体制整備加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・データ提出加算
・歯科外来診療感染対策加算3	・入退院支援加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・精神科入退院支援加算
・歯科診療特別対応連携加算	・医療的ケア児(者)入院前支援加算
・特定機能病院入院基本料	・認知症ケア加算
・障害者施設等入院基本料	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・排尿自立支援加算
・医師事務作業補助体制加算2	・地域医療体制確保加算
・急性期看護補助体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算	・救命救急入院料1
・療養環境加算	・救命救急入院料3
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料1
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料2
・放射線治療病室管理加算 (治療用放射性同位元素による場合)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料
・精神科応急入院施設管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・精神科身体合併症管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料1
・摂食障害入院医療管理加算	・緩和ケア病棟入院料1
・栄養サポートチーム加算	・特定機能病院リハビリテーション病棟入院料
・医療安全対策加算1	・入院時食事療養/生活療養()
・感染対策向上加算1	・ハイリスク妊娠管理加算
・患者サポート体制充実加算	・ハイリスク分娩管理加算
・重症患者初期支援充実加算	・術後疼痛管理チーム加算
・報告書管理体制加算	・後発医薬品使用体制加算3
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・糖尿病合併症管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料イ	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・がん患者指導管理料ロ	・遺伝学的検査の注2に規定する施設基準
・がん患者指導管理料ハ	・染色体検査の注2に規定する基準
・がん患者指導管理料ニ	・骨髄微小残存病変量測定
・外来緩和ケア管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・がんゲノムプロファイリング検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・先天性代謝異常症検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・小児運動器疾患指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・婦人科特定疾患治療管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)
・腎代替療法指導管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)
・一般不妊治療管理料	・検体検査管理加算()
・生殖補助医療管理料1	・検体検査管理加算()
・二次性骨折予防継続管理料1	・国際標準検査管理加算
・二次性骨折予防継続管理料3	・遺伝カウンセリング加算
・下肢創傷処置管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・院内トリアージ実施料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・外来放射線照射診療料	・胎児心エコー法
・外来腫瘍化学療法診療料1	・ヘッドアップティルト試験
・連携充実加算	・人工臓器検査、人工臓器療法
・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・ニコチン依存症管理料	・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)

・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・脳波検査判断料1
・がん治療連携計画策定料	・神経学的検査
・外来排尿自立指導料	・補聴器適合検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・黄斑局所網膜電図
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・全視野精密網膜電図
・肝炎インターフェロン治療計画料	・小児食物アレルギー負荷検査
・プログラム医療機器等指導管理料	・内服・点滴誘発試験
・薬剤管理指導料	・経頸静脈的肝生検
・地域連携診療計画加算	・前立腺針生検法 (MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・経気管支凍結生検法
・医療機器安全管理料1	・口腔細菌定量検査
・医療機器安全管理料2	・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査
・医療機器安全管理料(歯科)	・有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査
・歯科治療時医療管理料	・精密触覚機能検査
・在宅患者歯科治療時医療管理料	・画像診断管理加算1
・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算	・画像診断管理加算4
・救急患者連携搬送料	・遠隔画像診断
・在宅患者訪問看護・指導料 及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる 処置の休日加算1
・在宅療養後方支援病院	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる 処置の時間外加算1
・ポジトロン断層撮影 (アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる 処置の深夜加算1
・ポジトロン断層撮影 (アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 (アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・硬膜外自家血注入
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 (アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・乳房用ポジトロン断層撮影	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・CT撮影及びMRI撮影	・人工腎臓
・冠動脈CT撮影加算	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・外傷全身CT加算	・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する 糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
・心臓MRI撮影加算	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における 血漿交換療法
・乳房MRI撮影加算	・ストーマ合併症加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・口腔粘膜処置
・頭部MRI撮影加算	・歯科技工士連携加算1 及び光学印象歯科技工士連携加算
・全身MRI撮影加算	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・歯科技工加算1及び2
・外来化学療法加算1	・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算

・無菌製剤処理料	・自家脂肪注入
・心大血管疾患リハビリテーション料()	・組織拡張器による再建手術 (乳房(再建手術)の場合に限る。)
・脳血管疾患等リハビリテーション料()	・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再加算
・運動器リハビリテーション料()	・緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
・呼吸器リハビリテーション料()	・骨悪性腫瘍、類骨骨腫 及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・摂食機能療法の注3に規定する 摂食嚥下機能回復体制加算2	・骨移植術(軟骨移植術を含む。) (同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))
・がん患者リハビリテーション料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。) (自家培養軟骨移植術に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・医療保護入院等診療料
・経頭蓋磁気刺激療法	・仙骨神経刺激装置植込術 及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
・認知療法・認知行動療法1	・仙骨神経刺激装置植込術 及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)
・精神科作業療法	・角結膜悪性腫瘍切除術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・椎間板内酵素注入療法	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・腫瘍脊椎骨全摘術	・網膜付着組織を含む硝子体切除術 (眼内内視鏡を用いるもの)
・緊急穿頭血腫除去術	・網膜再建術
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・耳管用補綴材挿入術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術 型(拡大副鼻腔手術) 及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 (頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機 器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視 鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの (7本以上の電極による場合)に限る。)	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・癒着性脊髄くも膜炎手術 (脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パ セドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲 状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・気管支バルブ留置術
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) (MRIによるもの)	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉 を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳癌センチネルリンパ節生検加算1 及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除 (横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)

・乳癌センチネルリンパ節生検加算2 及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超える もので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を 伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を 伴うもの))	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・同種死体肺移植術
・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・生体部分肺移植術
・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除 及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外衝撃波胆石破碎術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、 内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、 胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・腹腔鏡下肝切除術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下肝切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下弁形成術	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・胸腔鏡下弁形成術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・生体部分肝移植術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・経カテーテル弁置換術 (経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・腹腔鏡下膵中央切除術
・不整脈手術左心耳閉鎖術 (経カテーテルの手術によるもの)	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)	・同種死体膵島移植術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合) 及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮 下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その 他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈 電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器 交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるも の)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視 鏡手術用支援機器を用いるもの)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用 いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用 支援機器を用いるもの)
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下腎盂形成手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・同種死体腎移植術
・骨盤内悪性腫瘍 及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・生体腎移植術
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・膀胱水圧拡張術 及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術 (内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・尿道狭窄グラフト再建術
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下胃縮小術	・精巣温存手術
・腹腔鏡下胃縮小術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下仙骨腔固定術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・自己クリオプレシビート作製術(用手法)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・同種クリオプレシビート作製術
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・体外式膜型人工肺管理料	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・麻酔管理料()
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・麻酔管理料()
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・周術期薬剤管理加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・放射線治療専任加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・外来放射線治療加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)	・高エネルギー放射線治療
・輸血管理料	・一回線量増加加算
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・保険医療機関間の連携による病理診断
・強度変調放射線治療(IMRT)	・病理診断管理加算2
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・定位放射線治療	・口腔病理診断管理加算2
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・画像誘導密封小線源治療加算	・外来・在宅ベースアップ評価料()
・歯科矯正診断料	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料()
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	・入院ベースアップ評価料71
・看護職員処遇改善評価料56	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二 年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	12回/年	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	27
	剖検率(%)	1.7

) 1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(で囲む等)こ

(注) 2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規Myh6及びMyh7の二重変異による家族性肥大型心筋症の浸透率から見た病態の解明	齋藤 和由	小児科学	2,340,000	補委 日本学術振興会
NICU/GCU内での未熟児に対するロタウイルスワクチン接種の安全性検討	小澤 慶	小児科学	2,600,000	補委 日本学術振興会
頭頸部悪性腫瘍の新規DWI撮像法、画質改善用AIと病期診断用CAD開発と臨床応用	池田 裕隆	放射線医学	2,860,000	補委 日本学術振興会
悪性神経膠腫の薬剤耐性獲得と腫瘍進行に伴うゲノム不安定化機構の解明	廣瀬 雄一	脳神経外科学	1,690,000	補委 日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症における黄色靭帯肥厚のメカニズム解析	藤田 順之	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
PICSにおける好中球の筋内浸潤の病態解明と好中球遊走制御による新たな治療	西田 修	麻酔・侵襲制御医学	130,000	補委 日本学術振興会
心房細動による左右非対称な心房リモデリングに関わるBMP10とPITX2の役割の解明	原田 将英	循環器内科学	2,080,000	補委 日本学術振興会
PET画像変換技術を含めた機械学習処理による心臓サルコイドシス診断モデルの開発	河合 秀樹	循環器内科学	1,950,000	補委 日本学術振興会
画像生成AIとの循環的・敵対的学習に基づく画像所見生成AIの開発	今泉 和良	呼吸器内科学	130,000	補委 日本学術振興会
健常/喘息患者細胞を用いた三次元細胞モデルによる気道リモデリングの検証と薬効評価	磯谷 澄都	呼吸器内科学	2,210,000	補委 日本学術振興会
エクソソームに着目したパセドウ病の重症化機序の解明と予後予測法の確立	平塚 いづみ	内分泌・代謝・糖尿病内科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
膵細胞のATP感受性Kチャンネルを中心とする新たな糖代謝制御機構の解明	村尾 直哉	内分泌・代謝・糖尿病内科学	1,690,000	補委 日本学術振興会
維持期うつ病に対する様々な治療方法の有用性の検討:ネットワークメタ解析	佐久間 健二	精神神経科学	1,690,000	補委 日本学術振興会
メラトニンリズム非後退型の睡眠・覚醒相後退障害の臨床的特徴について	廣瀬 真里奈	精神神経科学	4,160,000	補委 日本学術振興会
次世代ドナー由来DNA解析(liquid biopsy)による肝腎移植後免疫抑制療法の最適化	高原 武志	総合消化器外科学	13,000	補委 日本学術振興会
リンパ浮腫ケア選定のための超音波検査技術アセスメントと遠隔システムの確立	大高 洋平	リハビリテーション医学	130,000	補委 日本学術振興会

物理的限界を拡張させる仮想現実を用いた動的バランス訓練の効果	牛澤 一樹	リハビリテーション 医学	1,820,000	補 委	日本学術振興会
上喉頭神経の磁気刺激を用いた嚥下反射意起誘発と摂食嚥下障害患者への適用	小川 真央	リハビリテーション 医学	2,990,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部患者由来腫瘍移植モデルを用いた治療効果予測とその臨床応用への助案	加藤 久幸	耳鼻咽喉科・頭頸 部外科学	1,690,000	補 委	日本学術振興会
GANPのヒストンアセチル化活性欠損に起因する乳癌サブタイプの臨床病理学的意義	酒井 康弘	臨床検査科	130,000	補 委	日本学術振興会
安全で質の高い外来抗がん剤治療確立のための生涯学習プログラム	河田 健司	臨床腫瘍科	390,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部癌オルガノイドモデルを用いた治療効果予測と新規バイオマーカー開発	柳 久乃	臨床腫瘍科	1,820,000	補 委	日本学術振興会
薬理遺伝学検査の社会実装に向けた基盤データの構築	波多野 正和	薬物治療情報学	2,860,000	補 委	日本学術振興会
免疫学的視点からみた中枢性神経障害性疼痛の病態解明ならびに新規治療法開発	松本 省二	脳卒中科	260,000	補 委	日本学術振興会
抗菌薬スペクトラムインデックスを用いた新しい抗菌薬適正使用評価法(DASC)の検討	本田 仁	感染症科	1,690,000	補 委	日本学術振興会
細胞外小胞を応用した組織修復治療法の基盤開発	藤井 紀恵	輸血細胞治療科	1,560,000	補 委	日本学術振興会
胆管がんにおける胆管内細菌叢 胆汁酸相互作用及びその生物学的意義の解明	渡邊 彩子	消化器内科学	780,000	補 委	日本学術振興会
分子マトリックス電気泳動による膵嚢胞性腫瘍の術前良悪性診断への挑戦	大野 栄三郎	消化器内科学	910,000	補 委	日本学術振興会
食道胃接合部癌と胃癌の遺伝子変異比較と血中循環がんDNAによる腫瘍モニタリング	中内 雅也	先端ロボット・内視 鏡手術学	1,430,000	補 委	日本学術振興会
地域コホートと深層学習による老年症候群予防に資する個別化栄養療法の確立	飯塚 勝美	臨床栄養学	260,000	補 委	日本学術振興会
国内で発生したエムボックス患者の濃厚接触者に対する曝露後予防体制の確立	上原 由紀	感染症科	5,850,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究 開発機構

感染症の流行初期および蔓延時に対応したDCTのツールの開発と応用	近藤 征史	呼吸器内科学	5,200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
LCH-19-MSMFB、LCH-19-Histio、LCH-12-LTFUの遂行	工藤 寿子	小児科学	130,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
原因不明中枢神経感染症からの新規病原体探	吉川 哲史	小児科学	2,600,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ワクチン定期接種化後のVZV感染症の動向解析	吉川 哲史	小児科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
症候性先天性サイトメガロウイルス感染症児を対象としたバルガンシクロピルの有効性及び安全性を評価する第III相多施設共同単群オープンラベル医師主導治験	吉川 哲史	小児科学	1,950,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
メチルマロン酸血症等の有機酸代謝異常症における特殊ミルクの必要性に関するエビデンス創出	伊藤 哲哉	小児科学	585,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
先天性有機酸血症の新治療薬による医師主導治験研究	伊藤 哲哉	小児科学	12,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
先天性有機酸血症の新治療薬による医師主導治験研究	伊藤 哲哉	小児科学	102,956,668	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
間葉系幹細胞を応用した骨修復デバイス開発	藤田 順之	整形外科学	19,968,999	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
術後の腱癒着を予防する生体吸収性シルクフィブリンゲルの開発	河野 友祐	整形外科学	4,852,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
全ゲノム関連解析を基盤とした精神疾患感受性遺伝子の機能解明	岩田 仲生	精神神経科学	91,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
疾患オミックス解析および学会との連携体制構築	岩田 仲生	精神神経科学	3,900,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ゲノム研究を創薬等出口に繋げる研究開発プログラム	岩田 仲生	精神神経科学	42,900,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
薬物動態情報を用いた薬物血中濃度予測アルゴリズムと副作用予測アルゴリズムの構築	齋藤 竹生	精神神経科学	13,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性脳脊髄腫瘍を標的とする放射性同位体化合物とその治療法の開発	武藤 淳	脳神経外科学	4,852,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
後方視的観察研究、臨床研究実施計画書作成および臨床研究開始準備	武藤 淳	脳神経外科学	390,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化	廣瀬 雄一	脳神経外科学	390,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究	廣瀬 雄一	脳神経外科学	130,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

高齢者初発膠芽腫に対する分子分類に応じたテモゾロミド併用寡分割放射線治療の最適化に関する研究開発	廣瀬 雄一	脳神経外科学	130,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
最初期アルツハイマー病を検出する脳ナビゲーションタスクの開発とその神経回路基盤解明に関する研究開発	渡辺 宏久	脳神経内科学	39,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
MCI患者の登録、臨床データ・MRI・血液検体の経時的収集	渡辺 宏久	脳神経内科学	4,810,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
PACI-ONコホート研究	杉浦 一充	皮膚科学	780,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブの検証的医師主導臨床治験の実施(治験実施)	坪井 直毅	腎臓内科学	1,690,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性腎疾患の疾患・重症度分類の再定義に向けた研究開発	坪井 直毅	腎臓内科学	260,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ICTを利用した脳卒中センターでの遠隔診療体制整備と活用に向けた研究	松本 省二	脳卒中科	19,370,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
チタンブリッジ手術適応基準用WEBアプリの国内臨床活用支援チタンブリッジ手術適応基準の臨床試験での応用と国際標準化	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	390,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
2型糖尿病の発症予防を目指すヘルスケアサービスの適正評価確立のための研究指針作成委員	鈴木 敦詞	内分泌・代謝・糖尿病内科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
検体バンク拡充、臨床検体収集、臨床情報収集、統計解析、臨床情報とゲノム異常の相関性の解析	稲本 賢弘	造血細胞移植・細胞療法学	1,664,520	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験の症例集積の加速支援	松岡 宏	総合消化器外科学	520,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
心停止後臓器提供時のECMOによる臓器(肝臓・脾臓・腎臓)機能温存	剣持 敬	臓器移植科	7,800,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
日本人SNPを利用したドナー由来Cell free DNA測定(リキッドバイオプシー)による臓器移植後グラフト障害診断法の確立	剣持 敬	臓器移植科	260,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
FCMD及び類縁疾患のiPSCs由来三次元培養法による疾患モデルを駆使した病態評価と低分子治療法開発	池田 真理子	臨床遺伝科	23,257,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
薬事承認申請をめざした福山型筋ジストロフィーアンチセンス核酸治療薬の非臨床試験と自然歴・バイオマーカー探索・治験プロトコール作成	池田 真理子	臨床遺伝科	1,950,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
福山型先天性筋ジストロフィー患者における内服ステロイド薬の第II相治験	池田 真理子	臨床遺伝科	780,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遠隔手術実施のためのガイドライン改訂に向けた実証研究成果の反映	宇山 一朗	先端ロボット・内視鏡手術学	429,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
鼻および副鼻腔疾患のAIによるCT画像診断支援システム開発	吉岡 聡志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	103,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

「双極性障害うつ病に対するAccelerated intermittent Theta Burst Stimulationの有効性の検討:二重盲検ランダム化シヤム比較試験」のプロトコル開発	岸 太郎	精神神経科学	2,600,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
電気けいれん療法で臨床的に安定した、抗うつ薬治療抵抗性の大うつ病性障害患者に対する外来維持反復経頭蓋磁気刺激療法の再燃予防効果:二重盲検ランダム化シヤム比較試験	佐久間 健二	精神神経科学	6,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新規疾患の新生児マススクリーニングに求められる実施体制の構築に関する研究	中島 葉子	小児科学	100,000	補 委	厚生労働省
ドナーミルクを必要とする児に普及するために必要なエビデンスを構築するための研究	宮田 昌史	小児科学	200,000	補 委	厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	水野 晴夫	小児科学	350,000	補 委	厚生労働省
希少難治性消化器疾患の長期的QOL向上と小児期からのシームレスな医療体制構築	井上 幹大	小児外科学	200,000	補 委	厚生労働省
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	坪井 直毅	腎臓内科学	172,000	補 委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	坪井 直毅	腎臓内科学	300,000	補 委	厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	渡辺 宏久	脳神経内科学	700,000	補 委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究	杉浦 一充	皮膚科学	600,000	補 委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	安岡 秀剛	リウマチ・膠原病内科学講座	180,000	補 委	厚生労働省
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究	大高 洋平	リハビリテーション医学	500,000	補 委	厚生労働省
新生児スクリーニング対象疾患等の先天代謝異常症の成人期にいたる診療体制構築と提供に関する研究	伊藤 哲哉	小児科学	600,000	補 委	厚生労働省
切れ目のない医療を提供するための病院薬剤師間の情報連携の推進に資する研究	水野 智博	薬物治療情報学	250,000	補 委	厚生労働省
ライフスタイルに着目した慢性腎臓病(CKD)対策に資する研究	水野 智博	薬物治療情報学	300,000	補 委	厚生労働省
ヒトの活動を支え育むHCPS融合人協調ロボティクスの社会実装技術開発	大高 洋平	リハビリテーション医学	95,945,000	補 委	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
高齢者の生活を支援するロボット・ICT開発研究	大高 洋平	リハビリテーション医学	1,200,000	補 委	国立長寿医療研究センター

疾患モデルを駆使した筋ジストロフィーの 治療法開発	池田 真理子	臨床遺伝科	500,000	補 委	国立精神・神経医 療研究センター
ロタウイルスワクチンを基盤とした進化型リ コンビナント性器ヘルペスワクチン開発	吉川 哲史	小児科学	2,500,000	補 委	予防接種リサーチ センター
NCNPブレインバンクの運営およびブレイン バンク生前登録システムの推進	渡辺 宏久	脳神経内科学	1,000,000	補 委	国立精神・神経医 療研究センター
グルコースによる蛋白節約効果における ChREBP/MondoA/Mlx経路の意義	飯塚 勝美	臨床栄養学	2,080,000	補 委	日本学術振興会
びまん性肺疾患に関する調査研究	橋本 直純	呼吸器内科学	400,000	補 委	愛知県難病研究 協議会
機械学習による再構成法を用いた冠動脈 CTのステント内狭窄診断に関する多施設前 向き非ランダム化研究	河合 秀樹	循環器内科学	500,000	補 委	(公財)市原国際奨 学財団
心アミロイドーシスにおけるヒドロキシメチ レンジホスホン酸テクネチウム (Tc-99m)を用 いた心集積と周辺組織の定量的指標に関 する検討	血井 正義	循環器内科学	660,000	補 委	㈱日本メジフィジッ クス
新規Myh6及びMyh7の二重変異による家 族性肥大型心筋症の浸透率から見た病態 の解明	齋藤 和由	小児科学	500,000	補 委	(公財)市原国際奨 学財団
小児難治性ネフローゼ症候群におけるM2 型活性化マクロファージを介したシクロスボ リン腎症の発症・進展機序の解明	近藤 朋実	小児科学	150,000	補 委	(公財)愛知腎臓財 団
ロタウイルスワクチンを基盤とした進化型リ コンビナント性器ヘルペスワクチン開発	吉川 哲史	小児科学	2,500,000	補 委	(公財)予防接種リ サーチセンター
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	水野 晴夫	小児科学	400,000	補 委	愛知県特定疾患 研究協議会
糸球体血管内皮障害におけるタンパク質 架橋化酵素トランスグルタミナーゼ2の役割 解明	坪井 直毅	腎臓内科学	150,000	補 委	(公財)愛知腎臓財 団
ビタミンK2による大動脈石灰化抑制効果の ランダム化比 較試験	坪井 直毅	腎臓内科学	150,000	補 委	(公財)愛知腎臓財 団
手術支援ロボットを用いた腎泌尿器外科領 域の低侵襲手術手技と解剖的教育・研究	白木 良一	腎泌尿器外科学	500,000	補 委	(一社)日本泌尿器 内視鏡・ロボティクス 学会
光曝露環境が統合失調症の生体リズムと 精神・身体症状に及ぼす影響の解明	江崎 悠一	精神神経科学	2,000,000	補 委	(公財)武田科学振 興財団
維持期うつ病に対する様々な治療方法の 有用性の検討:ネットワークメタ解析	岸 太郎	精神神経科学	500,000	補 委	(一社)日本臨床精 神神経薬理学会
愛知県における遺伝性腫瘍の認知度向上 に向けた取り組み	植野 さやか	先端ゲノム医療科	500,000	補 委	(一般)愛知健康増 進財団
裸眼3D立体視モニターによる呼吸器外科 手術支援システムの構築とその評価	樋田 泰浩	先端ロボット・内視 鏡手術学	500,000	補 委	J&J(株)メディカルカ ンパニー

磁気誘導全消化管カプセル内視鏡の多施設共同前向き研究	大宮 直木	先端光学診療学	500,000	補委	(公財)日本対がん協会
慢性低ナトリウム血症による精神症状のメカニズムの解明とその治療法の開発	藤沢 治樹	内分泌・代謝・糖尿病内科学	1,500,000	補委	(公財)サルトサイエンス研究財団
脂質代謝におけるグルカゴンの役割	上野 慎士	内分泌・代謝・糖尿病内科学	1,000,000	補委	(公社)日本糖尿病協会
絶食時の血糖維持におけるグルカゴンの役割について	鈴木 敦詞	内分泌・代謝・糖尿病内科学	800,000	補委	(公財)日本糖尿病協会
食事由来の栄養素、膵ホルモン(インスリン・グルカゴン)、骨形成の相互作用を解明し、糖尿病医療へ応用する	清野 祐介	内分泌・代謝・糖尿病内科学	3,000,000	補委	(公財)日本糖尿病協会
インドシアニングリーンを用いた脳脊髄腫瘍の術中蛍光診断の確立と治療技術の開発	武藤 淳	脳神経外科学	2,000,000	補委	(公財)日東学術振興財団
in houseがん遺伝子パネル検査を用いた脳腫瘍解析と治療法の開発	大場 茂生	脳神経外科学	1,000,000	補委	(公財)豊秋奨励会
セロトリントランスポーター-SPECTの定量測定法の研究	外山 宏	放射線医学	1,320,000	補委	日本メジフィジックス(株)
HIF-PH阻害薬によって引き起こされる甲状腺機能低下症の機序解明に関するリパーstransレーショナルリサーチ	中井 剛	薬物治療情報学	250,000	補委	(公財)愛知腎臓財団
アルツハイマー病におけるAβによる筋代謝調節機構破綻の機序解明	中井 剛	薬物治療情報学	2,000,000	補委	(公財)日東学術振興財団
PARP阻害剤に対する新たなコンパニオン診断システムの構築	酒井 康弘	臨床検査科	1,000,000	補委	検査医学会
全身振動刺激による痙縮抑制効果の検証	伊藤 翔太	リハビリテーション部	200,000	補委	(一社)日本物理療法学会

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Menjo H Hasegawa M Fujigaki H et al.	腎臓内科	Comparison of serial humoral immune response by immunosuppressive treatment after SARS-CoV-2 mRNA vaccination.	Internal Medicine 2023 Dec 1; 62(23):3445-3454	Original Article
2	Minatoguchi S Hayashi H Umeda R et al.	腎臓内科	Additional renoprotective effect of the SGLT2 inhibitor dapagliflozin in a patient with ADPKD receiving tolvaptan treatment	CEN Case Rep 2024 Mar 18;doi: 10.1007/s13730-024-00859-1	Case report
3	Suzuki A	内分泌・代謝・糖尿病 内科	Multidisciplinary approach to management of osteoporosis with osteoporosis liaison service (OLS).	Endocr J. 2023 May 29;70(5):459-464	Others
4	Ueno S Seino Y Hidaka S et al.	内分泌・代謝・糖尿病 内科	Blockade of glucagon increases muscle mass and alters fiber type composition in mice deficient in proglucagon-derived peptides	J Diabetes Investig. 2023 Sep;14(9):1045-1055	Original Article
5	Fujisawa H Takeuchi T Ishii A et al.	内分泌・代謝・糖尿病 内科	Absence of anti-rabphilin-3A antibodies in children and young adults with idiopathic central diabetes insipidus: a potential clue to elucidating a tumor etiology	Hormones (Athens) 2023 Dec;22(4):747-758	Review
6	Fujisawa C Hiratsuka I Shibata M et al.	内分泌・代謝・糖尿病 内科	Pancreas transplantation improves the quality of life of Japanese type 1 diabetes patients with diabetic kidney disease	Fujita Medical Journal 2023 Aug;9(3):194-199.	Original Article
8	Fujii K Nakayama I Izawa J et al.	救急総合内科	Association between intrarenal venous flow from Doppler ultrasonography and acute kidney injury in patients with sepsis in critical care: a prospective, exploratory observational study.	Critical care (London, England) 2023 Jul 10;27(1):278	Others
9	Arakaki D Iwata M Terasawa T et al.	救急総合内科	External validation of the International Medical Prevention Registry on Venous Thromboembolism bleeding risk score for predicting bleeding in acutely ill hospitalized medical patients: A retrospective single-center cohort study.	Thrombosis Journal 2024 Mar 28;22(1):31	Others
10	Takahashi K Uenishi N Sanui M et al.	救急総合内科	Clinical profile of patients with diabetic ketoacidosis and hyperglycemic hyperosmolar syndrome in Japan: a multicenter retrospective cohort study	Acta Diabetol 2024 Jan;61(1):117-126	Others
11	Mizutani Y Nawashiro K Ohdake R et al.	脳神経内科	Enzymatic Properties and Clinical Associations of Serum Alpha-Galactosidase A in Parkinson's Disease	Annals of Clinical and Translational Neurology 2023 Sep;10(9):1662-1672	Original Article
12	Mizutani Y Ohdake R Tatebe H et al.	脳神経内科	Associations of Alzheimer's-Related Plasma Biomarkers with Cognitive Decline in Parkinson's Disease	Journal of Neurology 2023 Nov;270(11):5461-5474	Original Article
13	Nagao R Mizutani Y Shima S et al.	脳神経内科	Correlations between serotonin impairments and clinical indices in multiple system atrophy	European Journal of Neurology 2024 Mar;31(3):e16158.	Original Article
14	Kishi T Ikuta T Sakuma K et al.	精神科	Repetitive transcranial magnetic stimulation for bipolar depression: a systematic review and pairwise and network meta-analysis	Mol Psychiatry 2024 Jan;29(1):39-42	Others
15	Kishi T Sakuma K Hatano M et al.	精神科	Early relapse after antidepressant discontinuation may represent antidepressant discontinuation syndrome in major depressive disorder: A meta-analysis	Asian J Psychiatr 2023 Apr;82:103502	Others
16	Kishi T Iwama Y Sasagawa Y et al.	精神科	Asenapine add-on treatment for schizophrenia adults who received antipsychotics: A 52-week, open-label study	Psychiatry Clin Neurosci 2023 Jun;77(6):365-366	Letter
17	Kishi T Sakuma K Hatano M et al.	精神科	Newer antidepressant for Japanese adults with major depressive disorder: A systematic review and meta-analysis	Neuropsychopharmacol Rep 2024 Mar;44(1):216-220	Others
18	Kishi T Sakuma K Miura G et al.	精神科	Alpha lipoic acid for schizophrenia: A systematic review and meta-analysis	J Clin Psychopharmacol 2023 Sep-Oct;43(5):477-478	Others
19	Kishi T Ikuta T Sakuma K et al.	精神科	Safety profile of antidepressant for Japanese adults with major depressive disorder: a systematic review and network meta-analysis	Psychiatry Clin Neurosci 2024 Feb;78(2):142-144	Others
20	Kishi T Sakuma K Matsuda Y et al.	精神科	Intermittent theta burst stimulation vs. high-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation for major depressive disorder: A systematic review and meta-analysis	Psychiatry Res 2023 Oct;328:115452	Others

21	Kishi T Sakuma K Iwata N	精神科	Valbenazine for tardive dyskinesia: a systematic review and network meta-analysis	Int Clin Psychopharmacol 2023 Nov 1;38(6):369-374	Others
22	Sakuma K Kishi T Sanji S et al.	精神科	Phosphodiesterase type 5 inhibitors for the treatment of sexual dysfunction in males with major depressive disorder: A systematic review and meta-analysis	Psychiatry Clin Neurosci 2023 May;77(5):297-299	Others
23	Hamanaka S Kishi T Sakuma K et al.	精神科	Serotonin 3 receptor antagonist for obsessive-compulsive disorder: A systematic review and pairwise meta-analysis	J Psychiatr Res 2023 Nov;167:132-138	Others
24	Kishi T Sakuma K Hatano M et al.	精神科	Antidepressants available in Japan for older people with major depressive disorder: A systematic review and meta-analysis	Neuropsychopharmacol Rep 2024 Feb 6;44(1):267-271	Others
25	Kishi T Sakuma K Saito T et al.	精神科	Comparison of brexpiprazole, aripiprazole, and placebo for Japanese major depressive disorder: A systematic review and network meta-analysis	Neuropsychopharmacol Rep 2024 Jan 14;44(1):165-175	Original Article
26	Kishi T Citrome L Sakuma K et al.	精神科	A comparison of recurrence rates after discontinuation of second-generation antipsychotic long-acting injectable versus corresponding oral antipsychotic in the maintenance treatment of bipolar disorder: A systematic review	Psychiatry Res 2024 Mar;333:115761	Others
27	Esaki Y Obayashi K Saeki K et al.	精神科	Circadian variability of objective sleep measures predicts the relapse of a mood episode in bipolar disorder: findings from the APPLE cohort	Psychiatry Clin Neurosci 2023 Aug;77(8):442-448	Original Article
28	Funahashi K Hirose M Kondo S et al.	精神科	Oral appliance therapy for obstructive sleep apnea: a retrospective study in a psychiatric sleep clinic	Fujita Med J 2023 Aug;9(3):218-224	Original Article
29	Yamanouchi D Igari K	血管外科	The inhibition of Wnt signaling attenuates RANKL-induced osteoclastogenic macrophage activation	Vasc Biol 2023 Jul 13;5(1):e230007	Others
30	Hoshikawa Y Matsuda Y Ashikari J	呼吸器外科	Donor management and extremely high donor lung utilization rate in Japan	Journal of thoracic disease 2024 Feb 29;16(2):1625-1631	Review
31	Adachi K Hasegawa M Yuichi H	脳神経外科	Cerebrospinal fluid leakage prevention using the anterior transpetrosal approach with versus without postoperative spinal drainage: an institutional cohort study.	Neurosurgical Review 2023 Jun 7;46(1):137	Original Article
32	Muto J Mine Y Nishiyama Y et al.	脳神経外科	Intraoperative Real-Time Near-Infrared Image-Guided Endoscopic Endonasal Surgery for Pituitary Tumors.	World Neurosurgery 2023 Jul;175:e218-e229	Others
33	Muto J Murata H Shigekawa S et al.	脳神経外科	Clinical Characteristics and Long-term Outcomes of Spinal Pilocytic Astrocytomas: A Multicenter Retrospective Study by the Neurospinal Society of Japan	Neurospine. 2023 Sep;20(3):774-782	Original Article
34	Muto J Tateya I Nakatomi H et al.	脳神経外科	Transoral Robotic-Assisted Neurosurgery for Skull Base and Upper Spine Lesions	Neurospine. 2024 Mar;21(1):106-115	Others
35	Nishiyama Y Hasegawa M Adachi K et al.	脳神経外科	Role of a Tortuous Vertebralbasilar Artery and Anchoring Perforators in the Etiology of Hemifacial Spasm	World Neurosurgery 2024 Mar;183:e707-e714	Others
36	Hasebe A Nakahara I Matsumoto S et al.	脳卒中科	Factors influencing early obliteration during flow diverter treatment of cerebral aneurysms: Establishment of an early obliteration inhibition score	Fujita Medical Journal 2023 Aug;9(3):240-245	Original Article
37	Suyama K Nakahara I Matsumoto S et al.	脳卒中科	Efficacy and Safety of Dual Antiplatelet Therapy with the Routine Use of Prasugrel for Flow Diversion of Cerebral Unruptured Aneurysms	Clinical Neuroradiology 2024 Mar;34(1):201-208	Original Article
38	Tanabe J Nakahara I Ishihara T et al.	脳卒中科	Decision-making tree for optimal Woven EndoBridge device sizing with ideal Woven EndoBridge-aneurysm volume (iWAVe) ratio	Journal of Clinical Neuroscience 2023 Aug;114:55-61	Original Article
39	Morioka J Nakahara I Matsumoto S et al.	脳卒中科	Persistent contrast-filling in the woven endobridge device three months after its implantation for cerebral aneurysm: Incidence, predictive factors, and outcome	Clinical Neurology and Neurosurgery 2023 Aug;231:107837	Original Article
40	Nagai S Hachiya K Takeda H et al.	整形外科	Impact of oxidized LDL/LOX-1 system on ligamentum flavum hypertrophy.	J Orthop Sci. 2023 May;28(3):669-676	Original Article
41	Kawabata S Akeda K Yamada J et al.	整形外科	Advances in Platelet-Rich Plasma Treatment for Spinal Diseases: A Systematic Review.	Int J Mol Sci 2023 Apr 21;24(8):7677	Review

42	Taniguchi T Inagaki R Michikawa T et al.	整形外科	Polypharmacy of older surgical patients with extremity fractures	Geriatric Orthopaedic Surgery & Rehabilitation 2024 Mar 12;15:21514593241234431	Original Article
43	Kawano Y Seki A Kuroiwa T et al	整形外科	A case of bilateral elbow dislocation in a patient with Rubinstein-Taybi syndrome.	JSES Int. 2023 Apr 24;7(4):714-718	Case report
44	Uraya Y Kawano Y Kuroiwa T et al	整形外科	Is local anesthesia or general anesthesia preferable for plate removal after clavicle fracture surgery under general anesthesia? A comparative study using a patient questionnaire	Injury 2023 Oct 15;Volume 54, Issue 12	Original Article
45	Kawabata S Nagai S Ito K et al.	整形外科	Intradiscal administration of autologous platelet-rich plasma in patients with Modic type 1 associated low back pain: A prospective pilot study.	JOR Spine 2024 Mar 18;7(1):e1320	Original Article
46	Uraya Y Kawano Y Kuroiwa T et al	整形外科	Response to letter to the editor regarding "Is local anesthesia or general anesthesia preferable for plate removal after clavicle fracture surgery under general anesthesia? A comparative study using a patient questionnaire" by Uraya et al.	Injury 2024 Mar;55(3):111315	Others
47	Nagai S Kawabata S Michikawa T et al.	整形外科	Association between frailty and locomotive syndrome in elderly patients with lumbar spinal stenosis: A retrospective longitudinal analysis.	Geriatr Gerontol Int. 2024 Jan;24(1):116-122	Original Article
48	Takeda H Abe Y Imai T et al.	脊椎外科	Elucidation of the mechanism of occasional anterior longitudinal ligament rupture with posterior correction procedure for adult spinal deformity using LLIF - finite element analysis of the impact of the lordotic angle of intervertebral	Medicina 2023 Aug 29;59(9):1569	Original Article
49	Inoue T Joko M Murayama K et al.	脊椎外科	Time-spatial labeling inversion pulse (Time-SLIP) magnetic resonance imaging for evaluating cerebrospinal fluid velocity and visualizing flow dynamics in patients with Chiari type I malformation	Neurosurgery Practice 2023 Dec; Volume 4 - Issue 4	Others
50	Kaneko S Zakaria A Takeda H et al.	脊椎外科	Circumferential Bone Fusion in Adult Spinal Deformity via Combination of Oblique Lateral Interbody Fusion and Grade 2 Posterior Column Osteotomy	Global Spine Journal 2023 Sep;13(7):2063-2073	Original Article
51	Yasuda R Iwata Y Tanaka Y et al.	皮膚科	Papuloerythroderma of Ofuji associated with thymic carcinoma	European Journal of Dermatology 2023 Aug 1;33(4):448-450	Case report
52	Sumitomo C Iwata Y Arima M et al	皮膚科	A clinicopathological analysis of forkhead box A1 (FOXA1) and estrogen receptor alpha expression in extramammary Paget's disease	Fujita Med J 2023 Aug;9(3):236-239	Original Article
53	Takahara K Kusaka M Shiroki R	泌尿器科	Novel Three-dimensional Workstation System for Intraoperative	JU Open Plus. 2023 Sep ; 1(9):e00048	Others
54	Takahara K Takenaka M Zennami K et al.	泌尿器科	Robot-assisted Radical Nephrectomy with Inferior Vena Cava Thrombectomy	Translational Cancer Research 2023 Dec 31;12(12):3792-3798	Others
55	Takahara K Motonaga T Okumura J et al.	泌尿器科	Robot-assisted retroperitoneal lymph node dissection: Initial experience in Japan	Asian J Endosc Surg. 2024 Jan;17(1):e13262	Others
56	Nukaya T Takahara K Yoshizawa A et al.	泌尿器科	Prognostic impact of immune-related adverse events as first-line therapy for metastatic renal cell carcinoma treated with nivolumab plus ipilimumab: A multicenter retrospective study	Clinical Genitourinary Cancer 2024 Feb;22(1):76-83	Others
57	Nukaya T Sumitomo M	泌尿器科	Estimating copy number to determine BRCA2 deletion status and to expect prognosis in localized prostate cancer	Cancer Med 2023 Apr;12(7):8154-8165	Original Article
58	Nakamura W Sumitomo M Zennami K	泌尿器科	Combination of deep learning and ensemble machine learning using intraoperative video images strongly predicts recovery of urinary continence after robot-assisted radical prostatectomy.	Cancer Reports 2023 Sep;6(9):e1861	Original Article
59	Aida N Ito T Kurihara K	臓器移植科	Impact of B Cell Depletion on COVID-19 in Kidney Transplant Recipients Nov, 2023	viruses 2023 Jul 7;15(7)	Original Article
60	Kurihara K Ito T Aida N et al.	臓器移植科	An examination of packing methods for grafts to prevent freezing injury during transportation for organ transplantation.	Journal of clinical medicine 2023 Jul 15;12(14):4703	Others
61	Ito T Kenmochi T Kurihara K et al.	臓器移植科	Age and Pre-operative HbA1c levels affect renal function compensation in living kidney donors.	International Urology and Nephrology	Original Article
62	Nisihio E Sakabe Y Fujii T	産婦人科	Rare recurrence of a multilocular cystic leiomyoma following myomectomy. 2023 Volume 9 Issue 2 Pages 160-162	Fujita Med J. 2023 May;9(2):160-162	Case report

63	Mitani T Kukimoto I Tsukamoto T et al.	産婦人科	A prospective clinical trial of diathermy ablation for patients with high-grade cervical intraepithelial neoplasia from a single institution in Japan	Scientific Reports 2024 Feb 1;14(1):2632	Original Article
64	Nishio E Iwata A Kawasaki R et al.	産婦人科	Metabolomic and microbiome analysis of cervicovaginal mucus in vitro fertilization-embryo transfer: Toward predicting pregnancy success.	Reproductive Medicine and Biology 2024 Feb 1;14(1):2632	Original Article
65	Ohno Y Yui M Yamamoto K et al.	放射線科	Pulmonary MRI with Ultra-Short TE Using Single- and Dual-Echo Methods: Comparison of Capability for Quantitative Differentiation of Non- or Minimally Invasive Adenocarcinomas from Other Lung Cancers with that of Standard-Dose	European Radiology 2024 Feb;34(2):1065-1076.	Original Article
66	Oshima Y Ohno Y Takenaka D et al.	放射線科	Capability for Dose Reduction while Maintaining Nodule Detection: Comparison of Silver and Copper X-ray Spectrum Modulation Filters for Chest CT Using a Phantom Study with Different Reconstruction Methods	European Journal of Radiology 2023 Sep;166:110969.	Others
67	Hanamatsu S Murayama K Ohno Y et al.	放射線科	Deep Learning Reconstruction for Brain DWI: Efficacy for Image Quality Improvement, ADC Assessment and IVIM Evaluation for In Vitro and In Vivo Studies.	Diagnostic and Interventional Radiology 2023 Sep 5;29(5):664-673.	Others
68	Ohno Y Ozawa Y Nagata H et al.	放射線科	Lung MR Imaging: Technical Advancements and Clinical Applications	Investigative Radiology 2024 Jan 1;59(1):38-52.	Review
69	Ohno Y Ozawa Y Nagata H et al.	放射線科	Area-Detector CT for Pulmonary Functional Imaging	Diagnostics 2023 Jul 28;13(15):2518.	Review
70	Ohno Y Yui M Yamamoto K et al.	放射線科	Chemical Exchange Saturation Transfer MRI: Capability for Predicting Therapeutic Effect of Chemoradiotherapy on Non-Small Cell Lung Cancer Patients.	Journal of Magn Reson Imaging. 2023 Jul;58(1):174-186.	Original Article
71	Murayama K Ohno Y Yui M et al.	放射線科	Three-Dimensional Gradient-Echo-Based Amide Proton Transfer-Weighted Imaging of Brain Tumors: Comparison With Two-Dimensional Spin-Echo-Based Amide Proton Transfer-Weighted Imaging	J Comput Assist Tomogr. 2023 May-Jun 01;47(3):494-499.	Others
72	Ohno Y Aoki T Endo M et al.	放射線科	Machine Learning-Based Computer-Aided Simple Triage (CAST) for COVID-19 Pneumonia as Compared with Triage by Board-Certified Chest Radiologists	Japanese Journal of Radiology 2024.Mar;42(3):276-290.	Original Article
73	Furuta M Ikeda H Hanamatsu S et al.	放射線科	Diffusion weighted imaging with reverse encoding distortion correction: Improvement of image quality and distortion for accurate ADC evaluation in vitro and in vivo studies.	Eur J Radiol 2024 Feb;171:111289. doi: 10.1016/j.ejrad.2024.111289.	Original Article
74	Hamabuchi N, Ohno Y, Kimata H, et al.	放射線科	Effectiveness of deep learning reconstruction on standard to ultra-low-dose high-definition chest CT images.	Jpn J Radiol. 2023 Dec;41(12):1373-1388. doi: 10.1007/s11604-023-01470-7.	Original Article
75	Hanamatsu S, Murayama K, Ohno Y, et al.	放射線科	Deep learning reconstruction for brain diffusion-weighted imaging: efficacy for image quality improvement, apparent diffusion coefficient assessment, and intravoxel incoherent motion evaluation in	Diagn Interv Radiol. 2023 Sep 5;29(5):664-673. doi: 10.4274/dir.2023.232149.	Original Article
76	Oshima Y, Ohno Y, Takenaka D, et al.	放射線科	Capability for dose reduction while maintaining nodule detection: Comparison of silver and copper X-ray spectrum modulation filters for chest CT using a phantom study with different reconstruction methods	Eur J Radiol. 2023 Sep;166:110969. doi: 10.1016/j.ejrad.2023.110969.	Original Article
77	Murayama K, Ohno Y, Yui M, et al.	放射線科	Three-Dimensional Gradient-Echo-Based Amide Proton Transfer-Weighted Imaging of Brain Tumors: Comparison With Two-Dimensional Spin-Echo-Based Amide Proton Transfer-Weighted Imaging	J Comput Assist Tomogr. 2023 May-Jun 01;47(3):494-499. doi: 10.1097/RCT.0000000000001432.	Original Article
78	Ito F Kawai Y Nakamura M et al.	放射線腫瘍科	Liver function and image evaluation after radiotherapy for liver metastases after resection of sigmoid colon cancer a case report.	International Journal of Surgery Case Reports 2024 Mar;116:109302	Case report
79	Uezono H Tsujino K Miyazaki S et al.	放射線腫瘍科	Reduced Risk of Lymphedema With Intensity-modulated Radiation Therapy Compared With 3-dimensional Conformal Radiation Therapy in Patients With Cervical Cancer Who Received Postoperative Pelvic Radiation Therapy	Am J Clin Oncol 2023 Aug 1;46(8):346-352	Original Article
80	Ohno Y Aoki T Endo M et al.	放射線診断学・先端画像診断共同研究講座	Machine learning-based computer-aided simple triage (CAST) for COVID-19 pneumonia as compared with triage by board-certified chest radiologists.	Jpn J Radiol 2024 Mar;42(3):276-290. doi: 10.1007/s11604-023-01495-y.	Original Article
81	Ohno Y Yui M Yamamoto K et al.	放射線診断学・先端画像診断共同研究講座	Pulmonary MRI with ultra-short TE using single- and dual-echo methods: comparison of capability for quantitative differentiation of non- or minimally invasive adenocarcinomas from other lung cancers with that of standard-dose thin-	Eur Radiol 2024 Feb;34(2):1065-1076. doi: 10.1007/s00330-023-10105-4.	Original Article
82	Ohno Y Ozawa Y Nagata H et al.	放射線診断学・先端画像診断共同研究講座	Lung Magnetic Resonance Imaging: Technical Advancements and Clinical Applications.	Invest Radiol 2024 Jan 1;59(1):38-52. doi: 10.1097/RLI.0000000000001017.	Review
83	Ohno Y Ozawa Y Nagata H et al.	放射線診断学・先端画像診断共同研究講座	Area-Detector Computed Tomography for Pulmonary Functional Imaging.	Diagnostics (Basel) 2023 Jul 28;13(15):2518. doi: 10.3390/diagnostics13152518.	Review

84	Ozawa Y Ohno Y Nagata H et al.	放射線診断学・先端画像診断共同研究講座	Advances for Pulmonary Functional Imaging: Dual-Energy Computed Tomography for Pulmonary Functional Imaging.	Diagnostics (Basel) 2023 Jul 6;13(13):2295. doi: 10.3390/diagnostics13132295.	Review
85	Ohno Y Yui M Yamamoto K et al.	放射線診断学・先端画像診断共同研究講座	Chemical Exchange Saturation Transfer MRI: Capability for Predicting Therapeutic Effect of Chemoradiotherapy on Non-Small Cell Lung Cancer Patients.	J Magn Reson Imaging 2023 Jul;58(1):174-186. doi: 10.1002/jmri.28691.	Original Article
86	Ueda T Ohno Y Shinohara M et al.	放射線診断学・先端画像診断共同研究講座	Reverse encoding distortion correction for diffusion-weighted MRI: Efficacy for improving image quality and ADC evaluation for differentiating malignant from benign areas in suspected prostatic cancer patients.	Eur J Radiol 2023 May;162:110764. doi: 10.1016/j.ejrad.2023.110764.	Original Article
87	Komatsu S Yatabe T Hara Y et al.	麻酔科	Investigation of factors affecting COVID-19 pancreatic injury: a single-center, retrospective study	Journal of Anesthesia 2023 Jun;37(3):487-491	Original Article
88	Sawada K Shimomura Y Hasegawa D et al.	麻酔科	Association of circulating histone H3 and high mobility group box 1 levels with postoperative prognostic indicators in intensive care unit patients: a single-center observational study.	Fujita Medical Journal 2023 May;9(2):95-100	Original Article
89	Fujiwara H Yamashita C Kawaji T et al.	麻酔科	Promotion of a venous thromboembolism prevention protocol at a perioperative management center.	Fujita Medical Journal 2023 Aug;9(3):179-185	Original Article
90	Kawaji T Okamoto A Moriyama K et al.	麻酔科	Sustained high-efficiency daily diafiltration using a mediator-adsorbing membrane in Burkitt lymphoma with a very high risk of tumor lysis syndrome: a case series with literature review.	Renal Replacement Therapy 2023/10月	Case report
91	Sakai Y Yoshinaga K Yoshida A et al.	臨床検査科	Testicular teratogenesis from primordial germ cells with overexpression of germinal center-associated nuclear protein	Cancer Science 2023 Apr;114(4):1729-1739	Original Article
92	Sakurai K Ando T Ideta Y et al.	臨床検査科	Transcriptome of Oral Cancer Cells Adapted to Suspension Culture Is Potentially Related to Cancer Progressive Phenotypes	Anticancer Research 2023 Sep;43(9):3905-3911	Original Article
93	Kato T Kawakami K Mizutani K et al.	臨床検査科	H19 in Serum Extracellular Vesicles Reflects Resistance to AR Axis-targeted Therapy Among CRPC Patients	Cancer Genomics & Proteomics 2023 Sep-Oct;20(5):456-468	Original Article
94	Iwaya M Hayashi Y Sakai Y et al.	臨床検査科	Artificial intelligence for evaluating the risk of gastric cancer: reliable detection and scoring of intestinal metaplasia with deep learning algorithms	Gastrointestinal Endoscopy 2023 Dec;98(6):925-933.e1	Original Article
95	Sakurai K Yamada S Ito R et al.	臨床検査科	Chromogenic in situ hybridization reveals specific expression pattern of long non-coding RNA DRAIC in formalin-fixed paraffin embedded specimen	Non-coding RNA Research 2023 Nov 11;9(1):76-83	Original Article
96	Honda H Nakagawa M Nishida R et al.	感染症科	Discontinuation of admission screening for COVID-19 and the impact on in-hospital clusters of COVID-19: experience at a tertiary care center	Infection Control and Hospital Epidemiology 2023 Nov;44(11):1877-1880	Original Article
97	Honda H Goto T Uehara Y et al.	感染症科	Promotion of antimicrobial stewardship following issuance of the antimicrobial resistance national action plan in Japan: A systematic review of 2016–2020	International Journal of Antimicrobial Agents 2023 Jul;62(1):106829	Original Article
98	Ohyama K Honda H Aoki M et al.	感染症科	Resurgence of human coronavirus OC43 at a long-term care facility during the coronavirus disease 2019 (COVID-19) pandemic: Outbreak investigation	Antimicrobial Stewardship & Healthcare Epidemiology 2023 Jun 5;3(1):e97	Original Article
99	Sakurai A Dinh Q A Hanson M B et al.	感染症科	Evolving landscape of carbapenem-resistant Pseudomonas aeruginosa at a single centre in the USA	JAC - Antimicrobial Resistance 2023 Jun 3;5(3):dlad070	Original Article
100	Sakurai A Suzuki M Hayashi K et al.	感染症科	Taxonomic classification of genus Aeronomas using open reading frame-based binarized structure network analysis	Fujita Medical Journal 2024 Feb;10(1):8-15	Original Article
101	Kouyama Y Uehara Y Takamatsu A et al.	感染症科	The impact of carbapenem shortage and stewardship countermeasures on antimicrobial practice at a tertiary care center	Antimicrobial Stewardship & Healthcare Epidemiology 2023 Oct 19;3(1):e173	Original Article
102	Sakurai A Suzuki M Ohkushi D et al.	感染症科	Clinical features, genome epidemiology, and antimicrobial resistance profiles of Aeronomas spp. causing human infections: A multicenter prospective cohort study	Open Forum Infectious Diseases 2023 Nov 16;10(12):ofad587	Original Article
103	Michiba A Gi M Yokohira M et al.	病理診断科	Early detection of genotoxic hepatocarcinogens in rats using H2AX and Ki-67: prediction by machine learning	Toxicological sciences 2023 Sep 28;195(2):202-212	Original Article
104	Sakurai E Okubo M Tsutsumi Y et al.	病理診断科	A case of chronic gastric anisakiasis coexisting with early gastric cancer	fujita medical journal 2023 May;9(2):163-169	Original Article

105	Okamoto M Yoshida M Kanamori D et al.	歯科・口腔外科	Changes in oral health status in terminal cancer patients during the last weeks of life	Annals of Palliative Medicine 2024 Jan;13(1):42-48	Original Article
106	Yasui K Saito Y Ito A et al.	放射線部	Validation of deep learning based CT image reconstruction for treatment planning	Scientific Reports 2023 Sep;13(18):15413	Original Article
107	Haba T Nishihara Y Saito Y et al.	放射線部	Estimating organ dose with optimized peak dose index in cone-beam CT scans	Physica Medica 2024 Feb;118:103215	Original Article
108	Mizuguchi T Horiguchi M Kakehi S et al.	眼科	MACULAR MORPHOLOGY AFTER MACULAR HOLE SURGERY USING THE INVERTED INTERNAL LIMITING MEMBRANE FLAP TECHNIQUE.	Retina 2023 Apr 1; 43(4): 560-566.	Original Article
109	Nakata D Kakehi S Okada H et al.	眼科	A Case of Autism Spectrum Disorder with Perforated Keratomalacia due to Vitamin A Deficiency.	Case Rep Ophthalmol 2023 Jul 7; 14(1): 288-294.	Case report
110	Inamoto Y Saitoh E Aihara K et al.	リハビリテーション科	Correction to: Effect of the Effortful Swallow on Pharyngeal Cavity Volume: Kinematic Analysis in Three Dimensions Using 320 Row Area Detector Computed Tomography	Dysphagia 2023 Aug;38(4):1146	Others
111	Inamoto Y Saitoh E Aihara K et al.	リハビリテーション科	Effect of the Effortful Swallow on Pharyngeal Cavity Volume: Kinematic Analysis in Three Dimensions Using 320 Row Area Detector Computed Tomography	Dysphagia 2023 Aug;38(4):1138-1145	Original Article
112	Kitamura S Otaka Y Ushizawa K et al.	リハビリテーション科	Reliability and validity of the public transportation use assessment form for individuals after stroke	Disabil Rehabil 2023 Jul;45(14):2346-2353	Original Article
113	Ushizawa K Otaka Y Kitamura S et al.	リハビリテーション科	Development of an assessment form for the performance of public transportation use in individuals with stroke	Disabil Rehabil 2023 Jul;45(14):2336-2345	Original Article
114	Mizutani K Otaka Y Kato M et al.	リハビリテーション科	Functional outcomes in acute care settings vary by disease categories but show a consistent pattern of disability	Ann Phys Rehabil Med 2023 May;66(4):101648	Original Article
115	Uehara S Yuasa A Ushizawa K et al.	リハビリテーション科	Characteristics of current perception produced by intermediate-frequency contact currents in healthy adults	Front Neurosci 2023 Apr 25;17:1145505	Original Article
116	Ii T Hirano S Imoto D et al.	リハビリテーション科	Effect of gait training using Welwalk on gait pattern in individuals with hemiparetic stroke: a cross-sectional study	Front Neurobot 2023 Apr 17;17:1151623	Original Article
117	Kitamura S Otaka Y Murayama Y et al.	リハビリテーション科	Differences in the difficulty of subtasks comprising the toileting task among patients with subacute stroke: A cohort study	J Stroke Cerebrovasc Dis 2023 Apr;32(4):107030	Original Article
118	Ohtsuka K Mukaino M Yamada J et al.	リハビリテーション科	Effects of ankle-foot orthosis on gait pattern and spatiotemporal indices during treadmill walking in hemiparetic stroke	Int J Rehabil Res 2023 Dec 1;46(4):316-324.	Original Article
119	Iida T Matsuo K Iida Y et al.	リハビリテーション科	Clinical impact of non-lying time on hospital-associated functional decline in older patients undergoing transcatheter aortic valve implantation	Heart Vessels 2024 Mar;39(3):266-272	Original Article
120	Inamoto Y González-Fernández M Saitoh E et al.	リハビリテーション科	Timing of True Vocal Cords Closure for Safe Swallowing: A Review of 5 Studies Using 3D Analysis Using Computerized Tomography (CT).	Dysphagia 2024 Jun;39(3):313-320	Original Article
121	Otaka Y Kitamura S Suzuki M et al.	リハビリテーション科	EFFECTS OF REHABILITATION PROGRAM FOCUSED ON IMPROVING REAL-LIFE DAILY ACTIVITIES OF PATIENTS WITH MILD COGNITIVE IMPAIRMENTS OR DEMENTIA AND THEIR	J Rehabil Med Clin Commun 2023 Oct 5;6:12293	Original Article
122	Uehara S Yuasa A Ushizawa K et al.	リハビリテーション科	Direction-dependent differences in the quality and quantity of horizontal reaching in people after stroke	J Neurophysiol 2023 Oct 1;130(4):861-870	Original Article
123	Ito K Uehara S Yuasa A et al.	リハビリテーション科	Electromyography-controlled gamified exercise system for the distal upper extremity: a usability assessment in subacute post-stroke patients	Disabil Rehabil Assist Technol 2023 Aug;18(6):883-888	Original Article
124	Yoshida T Otaka Y Kitamura S et al.	リハビリテーション科	Influence of motivation on rehabilitation outcomes after subacute stroke in convalescent rehabilitation wards	Front Neurol 2023 Jul 14;14:1185813	Original Article
125	Ito K Uehara S Yuasa A et al.	リハビリテーション科	Gamified exercise for the distal upper extremity in people with post-stroke hemiparesis: feasibility study on subjective perspectives during daily continuous training	Ann Med 2024 Dec;56(1):2306905	Original Article

126	Suzuki M Wu Y Ota K et al.	リハビリテーション科	Quality of life after brain injury-overall scale, Japanese version: assessment of reliability and validity	Brain Inj 2024 Mar 20;38(4):260-266	Original Article
127	Kitamura S Takeda K Uehara S et al.	リハビリテーション科	An evaluation of rehabilitation students' learning goals in their first year: a text mining approach	Front Med (Lausanne) 2024 Mar 13;11:1239916	Original Article
128	Yuasa A Uehara S Ushizawa K et al.	リハビリテーション科	The thermal sensation threshold and its reliability induced by the exposure to 28 GHz millimeter-wave	Front Neurosci 2024 Feb 27;18:1331416	Original Article
129	Wada Y Shibata S Shinohara A et al.	リハビリテーション科	Functional outcomes of protocol-based rehabilitation for patients with coronavirus disease 2019 in an acute care setting	Fujita Med J 2024 Feb;10(1):35-42	Original Article
130	Teranishi T Suzuki M Yamada M et al.	リハビリテーション科	Prediction of early falls using adherence and balance assessments in a convalescent rehabilitation ward	Fujita Med J 2024 Feb;10(1):30-34	Original Article
131	Shinohara A Kagaya H Komura H et al.	リハビリテーション科	THE EFFECT OF IN-BED LEG CYCLING EXERCISES ON MUSCLE STRENGTH IN PATIENTS WITH INTENSIVE CARE UNIT-ACQUIRED WEAKNESS: A SINGLE-CENTER RETROSPECTIVE STUDY	J Rehabil Med Clin Commun 2023 Dec 28;6:18434	Original Article
132	Ota H Mukaino M Inoue Y et al.	リハビリテーション科	Movement Component Analysis of Reaching Strategies in Individuals With Stroke: Preliminary Study	JMIR Rehabil Assist Technol 2023 Dec 5;10:e50571	Original Article
133	Wada Y Otake Y Yoshida T et al.	リハビリテーション科	Effect of Post-stroke Depression on Functional Outcomes of Patients With Stroke in the Rehabilitation Ward: A Retrospective Cohort Study	Arch Rehabil Res Clin Transl 2023 Aug 2;5(4):100287	Original Article
134	Mizutani K Otake Y Kato M et al.	リハビリテーション科	Incidents and Sudden Patient Deteriorations Occurring During Their Rehabilitation Sessions in an Acute Care Hospital: A Retrospective Cohort Study	Arch Rehabil Res Clin Transl 2023 Oct 28;5(4):100307	Original Article
135	Aihara K Inamoto Y Saitoh E et al.	リハビリテーション科	Development and validation of a device for monitoring laryngeal motion during swallowing	Front Robot AI 2023 Nov 2;10:1259257	Original Article
136	Watari T Ohtsuka K Suzuki Y et al.	リハビリテーション科	Effects of online frame-of-reference training on assessment accuracy in the objective structured clinical examination for physical therapy students	Fujita Med J 2023 Nov;9(4):288-294	Original Article
137	Yamada M Teranishi T Suzuki M et al.	リハビリテーション科	Examination of the lifestyle of head injury patients using the Frenchay Activities Index	Fujita Med J 2023 Nov;9(4):282-287	Original Article
138	Kanada Y Suzumura S Koyama S et al.	リハビリテーション科	Prevalence of Anxiety and Associated Factors among University Students: A Cross-Sectional Study in Japan	International Journal of Mental Health Promotion 2023 Jun;25(7):855-861	Original Article
139	Inamoto Y Ueha R Gonzalez-Fernandez M	リハビリテーション科	Emerging Dysphagia Technologies: Swallowing CT	Current Otorhinolaryngology Reports 2023 May; 11: 154-160	Original Article
140	Iriyama C Murate K Iba S et al.	血液内科	Utility of cerebrospinal fluid liquid biopsy in distinguishing CNS lymphoma from cerebrospinal infectious/demyelinating diseases	Cancer Medicine 2023 Aug;12(16):16972-16984	Original Article
141	Nagasaka M Nakagawa Y Kamano T et al.	消化器内科	Endoscopic imaging in inflammatory bowel disease.	J Med Ultrason 2023 Jul;50(3):321-326	Review
142	Funasaka K Horiguchi N Miyahara R et al.	消化器内科	Segmental absence of the intestinal musculature in the stomach found during endoscopic submucosal dissection	Endoscopy 2023 Dec;55(S 01):E694-E695	Others
143	Kuzuya T Kawabe N Ariga M et al.	消化器内科	Clinical Outcomes of Cabozantinib in Patients Previously Treated with Atezolizumab/Bevacizumab for Advanced Hepatocellular Carcinoma-Importance of Good Liver Function and Good Performance Status	Cancers 2023 May 28;15(11):2952	Original Article
144	Yamada H Funasaka K Nakagawa M et al.	消化器内科	Large Inflammatory Myofibroblastic Tumor of the Esophagus: A Case Report and Literature Review	Internal Medicine 2023 Dec 1;62(23):3473-3477	Case report
145	Muto H Kuzuya T Kawabe N et al.	消化器内科	Clinical Outcomes With Lenvatinib in Patients Previously Treated With Atezolizumab/Bevacizumab for Advanced Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Research 2023 Oct;43(10):4673-4682	Original Article
146	Ohno E Balduzzi A Hijjoka S et al.	消化器内科	Association of high-risk stigmata and worrisome features with advanced neoplasia in intraductal papillary mucinous neoplasms (IPMN): A systematic review	Pancreatology 2024 Feb;24(1):48-61	Review

147	Funasaka K Horiguchi N Yamada H et al.	消化器内科	A stag beetle knife can achieve stabler and safer endoscopic submucosal dissection in the esophagus.	Endoscopy International Open. 2023 Dec 12;11(12):E1130-E1137	Original Article
148	Kamano T Nakagawa Y Nagasaka M et al.	消化器内科	Diagnosis of ulcerative colitis and Crohn's disease using transabdominal ultrasonography	J Med Ultrason (2001) 2023 Jul;50(3):313-319.	Review
149	Ohno E Kuzuya T Kawabe N et al.	消化器内科	Use of contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography for the diagnosis of pancreatic cystic lesions	J Med Ultrason (2001) 2023 (Online ahead of print.)	Review
150	Nishimura A Harada M Ashihara T et al.	循環器内科	Effect of pulmonary vein isolation on rotor/multiple wavelet dynamics in persistent atrial fibrillation, association with vagal response and implications for adjunctive ablation	Heart Vessels 2023 May;38(5):699-710	Original Article
151	Kawai H Naruse H Sarai M et al.	循環器内科	Serum angiotensin-converting enzyme levels indicating early sarcoidosis diagnosis and immunosuppressive therapy efficacy	ESC Heart Fail 2023 Jun;10(3):1803-1810	Original Article
152	Harada M Okuzaki D Yamauchi A et al.	循環器内科	Circulating miR-20b-5p and miR-330-3p are novel biomarkers for progression of atrial fibrillation: Intracardiac/extracardiac plasma sample analysis by small RNA sequencing	PLoS One 2023 Apr 4;18(4):e0283942	Original Article
153	Sato Y Kumada M Kawai H et al.	循環器内科	Geriatric nutritional risk index as readmission predictor in older adults with heart failure irrespective of ejection fraction	Fujita Med J 2023 Aug;9(3):211-217	Original Article
154	Sato Y Motoyama S Miyajima K et al.	循環器内科	Clinical Outcomes Based on Coronary Computed Tomography-Derived Fractional Flow Reserve and Plaque Characterization	JACC Cardiovasc Imaging 2024 Mar;17(3):284-297	Original Article
155	Matsuwaki Y Muramatsu T Ozaki Y et al.	循環器内科	Comparison between optical coherence tomography-guided and intravascular ultrasound-guided primary percutaneous coronary intervention for ST-segment elevation myocardial infarction	Fujita Med J 2024 Feb;10(1):16-23	Original Article
156	Sakaguchi E Yamada A Naruse H et al.	循環器内科	Long-term prognostic value of changes in left ventricular global longitudinal strain in patients with heart failure with preserved ejection fraction	Heart Vessels 2023 May;38(5):645-652	Original Article
157	Ota H Matsuo H Imai S et al.	循環器内科	Multimodality imaging to identify lipid-rich coronary plaques and predict periprocedural myocardial injury: Association between near-infrared spectroscopy and coronary computed tomography angiography.	Front Cardiovasc Med 2023 Mar 30;10:1127121	Original Article
158	Kobayashi M Hayashi M Yamada R et al.	循環器内科	Predictors of in-hospital mortality in elderly patients with heart failure treated with tolvaptan	Fujita Med J 2023 May;9(2):80-83	Original Article
159	Kawada Y Yamada A Jinno S et al.	循環器内科	Resting echocardiographic parameters to detect patients with less symptomatic primary mitral regurgitation who require exercise stress echocardiography	Fujita Med J 2023 Nov;9(4):265-269	Original Article
160	Sakaguchi E Naruse H Ishihara Y et al.	循環器内科	Assessment of the renal angina index in patients hospitalized in a cardiac intensive care unit	Scientific Reports 2024 Jan 2;14(1):75	Original Article
161	Oya Y Mitsudomi T	呼吸器内科	Is adagrasib just another sotorasib? -Or, should we differentiate their usage according to patients' clinical presentation?	Translational Lung Cancer Research 2023 May 31;12(5):940-943	Letter
162	Takechi H Yoshino H	認知症・高齢診療科	Health Care Resource Use and Social Costs in Mild Cognitive Impairment and Mild Alzheimer's Disease	Journal of Alzheimer's Disease Reports 2023 Jul 14;7(1):731-738.	Original Article
163	Takechi H Yoshino H Suzuki M et al.	認知症・高齢診療科	Characteristics of Changes in Caregiver Burden during Follow-up at a Memory Clinic: A Retrospective Cohort Study	Journal of Alzheimer's Disease Reports 2024 Feb 6;8(1):151-162	Original Article
164	Suda K Sakai M Obama K et al.	総合消化器外科	Three-year outcomes of robotic gastrectomy versus laparoscopic gastrectomy for the treatment of clinical stage I/II gastric cancer: A multi-institutional retrospective comparative study.	Surgical Endoscopy 2023 Apr;37(4):2858-2872	Original Article
165	Shibasaki S Suda K Hisamori S et al.	総合消化器外科	Robotic gastrectomy for gastric cancer: systematic review and future directions	Gastric Cancer 2023 May;26(3):325-338	Review
166	Uchida Y Takahara T Mii S et al.	総合消化器外科	Robotic instruments outside the surgical field can cause problems: A case of critical bleeding during robotic distal pancreatectomy	Asian Journal of Endoscopic Surgery 2023 Jul;16(3):588-590	Case report
167	Iwama H Fujimoto Y Nakamura I et al.	総合消化器外科	Is 6 Months the Optimal Duration of Adjuvant Chemotherapy for Pancreatic Cancer?	Cancer Diagnosis & Prognosis 2023 Sep 3;3(5):582-589	Original Article

168	Umeki Y Shibasaki S Suzuki K et al.	総合消化器外科	Laparoscopic gastrectomy for remnant gastric cancer: a single-center retrospective study	Surgical Oncology 2023 Dec;51:101988	Original Article
169	Fujita M Nakauchi M Suzuki K et al.	総合消化器外科	Incidence and clinical relevance of postoperative diarrhea after minimally invasive gastrectomy for gastric cancer: A single institution retrospective study of 1476 patients	Langenbeck's Archives of Surgery 2023 Sep 19;408(1):364	Original Article
170	Uchida Y Takahara T Nishimura A et al.	総合消化器外科	Robotic pancreatic tumor enucleation by the double bipolar technique using the da Vinci SP system: An initial case report with a technical detail	Asian Journal of Endoscopic Surgery 2024 Jan;17(1):e13271	Case report
171	Mizumoto T Takahara T Nishimura A et al.	総合消化器外科	Challenge in optimizing robotic pancreaticoduodenectomy including nerve plexus hanging maneuver: a Japanese single center experience of 76 cases	Surgical Endoscopy 2024 Feb;38(2):1077-1087	Original Article
172	Inoue S Nakauchi M Umeki Y et al.	総合消化器外科	First Clinical Experiences of Robotic Gastrectomy for Gastric Cancer Using the hinotoriTM Surgical Robot System	Surgical Endoscopy 2024 Mar;38(3):1626-1636	Original Article
173	Tanaka T Suda K Shibasaki S et al.	総合消化器外科	Safety and feasibility of minimally invasive gastrectomy following preoperative chemotherapy for highly advanced gastric cancer	BMC Gastroenterology 2024 Feb 15;24(1):74	Original Article
174	Kato Y Sugioka A Kojima M et al.	先端ロボット・内視鏡手術学	Minimally Invasive Anatomic Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma Using the Extrahepatic Glissonian Approach: Surgical Techniques and Comparison of Outcomes with the Open Approach and between the Laparoscopic	Cancers 2023.Apr(オンライン), 15(8)2219	Original Article
175	Kato Y Sugioka A Uyama I	先端ロボット・内視鏡手術学	Minimally invasive isolated anatomic liver segmentectomy for hepatocellular carcinoma using extrahepatic Glissonian approach: surgical techniques and outcomes	Mini-invasive Surgery 2023.Apr(オンライン), 7	Original Article
176	Nakauchi M Shibasaki S Suzuki K et al.	先端ロボット・内視鏡手術学	Robotic esophagectomy with outermost layer oriented dissection for esophageal cancer : technical aspects and a retrospective review of a single institution database	Surg Endosc 2023.Nov, 37(11):8879-8891	Original Article
177	Iizuka K	臨床栄養学	Recent Progress on Fructose Metabolism-Chrebp, Fructolysis, and Polyol Pathway	Nutrients 2023 Apr 5;15(7):1778 オンラインのみ	Review
178	Iizuka I Sato H Kobae K et al.	臨床栄養学	Young Japanese Underweight Women with "Cinderella Weight" Are Prone to Malnutrition, including Vitamin Deficiencies	Nutrients 2023 May 7;15(9):2216 オンラインのみ	Original Article
179	Iizuka K Yabe D	臨床栄養学	Dietary and Nutritional Guidelines for People with Diabetes	Nutrients 2023 Oct 10;15(20):4314 オンラインのみ	Others
180	Iizuka K Deguchi K	臨床栄養学	Editorial: Diabetic renal tubulointerstitial disease	Frontiers in Endocrinology 2023 Nov 1;14:1303514. オンラインのみ	Others
181	Iizuka K Kobae K Yanagi K et al.	臨床栄養学	Differing Effects of Body Size on Circulating Lipid Concentrations and Hemoglobin A1c Levels in Young and Middle-Aged Japanese Women.	Healthcare 2024 Feb 13;12(4):465 オンラインのみ	Original Article
182	Nakauchi C Miyata M Kamino S et al.	小児科	Dexmedetomidine versus fentanyl for sedation in extremely preterm infants	Pediatrics International 2023 Jan-Dec;65(1):e15581	Others
183	Suzuki T Michihata N Hashimoto Y et al.	小児科	Association between aspirin dose and outcomes in patients with acute Kawasaki disease: a nationwide retrospective cohort study in Japan.	Eur J Pediatr 2024 Jan;183(1):415-424	Others
184	Suzuki T Kono T Satoshi H et al.	小児科	Case report: A case of severe retropharyngeal edema after COVID-19 successfully treated with intravenous immunoglobulin.	Front Pediatr. 2023 Jul 18;11:1198505	Case report
185	Tanaka M Miura H Ishimaru S et al.	小児科	Future Perspective for ALK-Positive Anaplastic Large Cell Lymphoma with Initial Central Nervous System (CNS) Involvement: Could Next-Generation ALK Inhibitors Replace Brain Radiotherapy for the Prevention of Further CNS Relapse?	Pediatr Rep 2023 May 26;15(2):333-340	Case report
186	Kozawa K Kawamura Y Hattori F et al.	小児科	Changes in trend of pediatric - and - herpesvirus infections during the COVID-19 pandemic	J Med Virol 2023 Jul;95(7):e28925	Others
187	Kumagai N Funato Y Wakamatsu M et al.	小児科	Japanese siblings with cartilage-hair hypoplasia exhibiting different severity	Pediatrics International 2023 Jan-Dec;65(1):e15557	Case report
188	Ikezumi Y Yoshikane M Kondoh T et al.	小児科	Mizoribine halts kidney fibrosis in childhood IgA nephropathy: association with modulation of M2-type macrophages	Microbiol Immunol 2023 Jun;38(6):1831-1842.	Others

189	Inoue M Uchida K Nagano Y et al.	小児外科	Preoperative Myopenia and Myosteotosis in Children with Inflammatory Bowel Disease and the Impact on Postoperative Complications	Surgery Today 2023 Apr;53(4):483-489	Original Article
190	Murayama M Inoue M Naoe A et al.	小児外科	Appendiceal atresia causing recurrent right lower quadrant pain without inflammation.	Clin J Gastroenterol 2023 Oct;16(5):685-688	Case report
191	Watanabe S Inoue M Suzuki T et al.	小児外科	Polyphyllin D induces necroptosis in neuroblastoma cells (IMR-32 and LA-N-2) in mice	Pediatrics Surgery International 2023 May 9;39(1):196	Others
192	Watanabe S Inoue M Miyata M et al.	小児外科	The effect of Daikenchuto on blood flow of the superior mesenteric artery and portal vein in ELBW: a prospective study	Journal of Neonatal-Perinatal Medicine 2023;16(3):423-428. (2023/10/11)	Others
193	Maeda K Hosoda, N Fukumoto J et al.	臨床検査部	Association of Scalp High-Frequency Oscillation Detection and Characteristics With Disease Activity in Pediatric Epilepsy	J Clin Neurophysiol 2023 Oct 30. (オンライン)	Original Article
194	Jinno S Yamada A Sugimoto K et al.	臨床検査部	Resting echocardiographic parameters can exclude significant coronary artery disease: A comparison with coronary computed tomography angiography.	Echocardiography 2023 Nov;40(11):1251-1258.	Original Article
195	Doi H	臨床検査部	Unmeasurable Hemoglobin A1c due to Extreme Hyperglycemia in High-performance Liquid Chromatography Method: A Case Report	Open Access Macedonian Journal of Medical Sciences 2023 Jul 13; 11(C):139-142.	Case report
196	Doi H	臨床検査部	False Prolongation of Activated Partial Thromboplastin Time with Aminoglycoside Antimicrobial Agents: A Case Report	Open Access Macedonian Journal of Medical Sciences 2023Aug17; 11(C):129-133.	Case report
197	Higashimoto Y	臨床検査部	Dry loop-mediated isothermal amplification assay for detection of SARS-CoV-2 from clinical specimens	Fujita Med J 2023 May;9(2):84-89.	Original Article
198	Tanaka J Koseki T Sekido K et al.	臨床薬剤科	Occurrence of intraocular hemorrhages under monotherapy or combination therapy of antiplatelets and anticoagulants using the Japanese Adverse Drug Event Report database	Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2023 Apr 12;26:11263	Original Article
199	Kato T Mizuno T Nakanishi M et al.	臨床薬剤科	Efficacy of ascorbic acid, thiamine, and hydrocortisone combination therapy for patients with sepsis: meta-analysis of randomized controlled trials	In vivo 2023 May-Jun;37(3):1236-1245	Original Article
200	Nakao H Koseki T Kato K et al.	臨床薬剤科	Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences	Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2023 Jun 30;26:11453	Original Article
201	Hatano M Yamada K Matsuzak H et al.	臨床薬剤科	Analysis of clozapine-induced seizures using the Japanese Adverse Drug Event Report database	PLoS One 2023 Jun 12;18(6):e0287122	Original Article
202	Yokoi R Hatano M Kamei H et al.	臨床薬剤科	Subjective assessment of brexpiprazole in patients with schizophrenia: a prospective observational study	Fujita medical journal 2023 Aug;9(3):231-235	Original Article
203	Hatano M Kamei H Takeuchi I et al.	臨床薬剤科	Long-term outcomes of delayed clozapine initiation in treatment-resistant schizophrenia: a multicenter retrospective cohort study	BMC psychiatry 2023 Sep 15;23(1):673	Original Article
204	Mizuno T Nagano F Ito Y et al.	臨床薬剤科	Novel Function of Transglutaminase 2 in Extracellular Histone-Induced Acute Lung Injury	Biochemical and Biophysical Research Communications 2023 Oct 20;678:179-185	Original Article
205	Iwata M Hatano M Ito K et al.	臨床薬剤科	Clinical Laboratory Data in Japan: A Comparative Study of Patients with Psychiatric Disorders and the General Population	Neuropsychiatric disease and treatment 2023 Oct 2;19:2061-2068	Original Article
206	Koseki T Teramachi M Koga M et al.	臨床薬剤科	A phase I/II clinical trial of intradermal, controllable self-replicating RNA vaccine EXG-5003 against SARS-CoV-2	Vaccines 2023 Nov 27;11(12):1767	Original Article
207	Hanamoto A Koseki T Utsunomiya A et al.	臨床薬剤科	Influence of Brain Metastasis on Analgesia-Related Outcomes in Patients with Lung and Breast Cancers Treated with Naldemedine: A Propensity Score-Matched Analysis	Journal of Clinical Medicine 2023 Nov 9;12(22):6997	Original Article
208	Hasegawa S Mizokami F Matsui Y	臨床薬剤科	Machine learning versus binomial logistic regression analysis for fall risk based on SPPB scores in older adult outpatients	Digit Health 2023 Dec 11;9:20552076231219438	Original Article
209	Aimiya Y Mizuno T Sakakibara M et al.	臨床薬剤科	Effectiveness of Online Team-Based Learning for Pharmacists on How to Conduct Clinical Medication Reviews for Old Patients in Japan: A Randomized Controlled Trial	In vivo 2024 Jan-Feb;38(1):460-466	Original Article

210	Hasegawa S Mizokami F Mizuno T et.al	臨床薬剤科	Investigation of geriatric syndromes associated with medication in Japan using insurance claims data	Geriatrics & Gerontology International 2024 Jan;24(1):61-67	Original Article
211	Matsumoto N Nakai T Sakakibara M et al.	臨床薬剤科	Remote follow up by pharmacists for blood pressure control in patients with hypertension: a systematic review and a meta analysis of randomized controlled trials	Scientific reports 2024 Jan 30;14(1):2535	Original Article
212	Hasegawa S Mizokami F Hayakawa Y et al.	臨床薬剤科	Relationship between social networks and medication counts: A 1-year follow-up pilot study	Geriatr Gerontol Int 2024 Mar;24(3):324-326	Original Article
213	Ando Y Shibata Y Ishihara T et al.	臨床薬剤科	Effect of Liver Dysfunction on S-1 Therapy Induced Adverse Effects: A Retrospective Cohort Study	In Vivo 2024 Mar;38 (2) 767-773	Original Article
214	Takami Y Hoshino N Yanase M et al.	心臓血管外科	Cardiac recovery from COVID-19-associated fulminant myocarditis by extracorporeal biventricular assist.	J Cardiol Cases. 2023 Jun;27(6):271-274	Case report
215	Takami Y Maekawa A Yamana K et al.	心臓血管外科	Fecal Occult Blood Screening Before Cardiac Surgery	Thorac Cardiovasc Surg 2024 Jan;72(1):21-28.	Original Article
216	Takami Y Yamashiro T Takagi Y	心臓血管外科	Blood purification for perioperative management of cardiac surgery.	J Xiangya Med オンラインのみ November 20, 2023	Review
217	Yamana K Takami Y Niwa W et al.	心臓血管外科	Mid-term results of distal anastomosis to the true lumen for chronic type B aortic dissection.	Heart Vessels 2023 Jun;38(6):849-856	Original Article
218	Hayashi R Takami Y Fujigaki H et al.	心臓血管外科	Optimal timing of SARS-CoV-2 vaccination prior to cardiovascular surgery under cardiopulmonary bypass.	Int J Artif Organs. 2024 Mar;47(3):147-154.	Original Article
219	Takami Y Maekawa A Yamana K et al.	心臓血管外科	Flow Characteristics of In-Situ Internal Thoracic Artery Bypass Graft with Competitive Flow	J Cardiol Cases. 2023 Sep 1;28(6):242-245.	Case report
220	Takami Y Maekawa A Yamana K et al.	心臓血管外科	Effects of Fractional Flow Reserve on Coronary Artery Bypass Graft Flow to Left Anterior Descending Artery	Circulation Journal 2023 Oct 25;87(11):1672-1679.	Original Article
221	Hayashi R Maekawa A Takami Y et al.	心臓血管外科	Surgical repair of mitral valve regurgitation with anomalous unilateral single pulmonary vein.	J Cardiol Cases. 2023;27(6):251-253.	Case report

計221件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含まれるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版が「オンラインのみ」の場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 別添資料参照 「藤田医科大学 人を対象とする医学系研究に係る医学研究倫理審査委員会申請手順書」	
倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に 印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 別添資料参照「藤田医科大学 利益相反マネジメント規程」	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 2 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 倫理セミナー (2023/7/31)	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の専門研修では、各診療領域における適切な教育を行い、十分な知識・経験を身につけ、患者から信頼される標準的な医療を提供できるとともに、先端的な医療を理解して情報を提供できる医師を育成することを目的としている。

臨床研修修了後に各診療科に入局し、原則としてプログラム制で基本19領域に対応した専攻医研修を行う。各領域で作成されたプログラムに基づき、専門医資格取得に必要な症例を経験しながら、基幹施設6か月以上、連携施設3か月未満とならないようにローテーション研修を実施する。基本領域の専門医を取得した後は引き続きSubspecialty領域の専門医取得を目指すことも可能である。

なお、基本領域の専門研修を行いながら、医学博士取得のために大学院に進学する社会人大学院の制度も設けている。

また、各診療科ではSubspecialty領域の専門医取得のみにこだわらず、専攻医の自主性を尊重して多様なキャリアデザインをサポートするコースも設定している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	139.42人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
井澤 英夫	循環器内科	教授	34年	
今泉 和良	呼吸器内科	教授	38年	
廣岡 芳樹	消化器内科	教授	37年	
入山 智沙子	血液内科	准教授	20年	
河田 健司	臨床腫瘍科	教授	26年	
安岡 秀剛	リウマチ・ 膠原病内科	教授	26年	
坪井 直毅	腎臓内科	教授	30年	
鈴木 敦詞	内分泌・代謝・ 糖尿病内科	教授	35年	
岩田 充永	救急総合内科	教授	25年	
渡辺 宏久	脳神経内科	教授	30年	
土井 洋平	感染症科	教授	25年	
武地 一	認知症・ 高齢診療科	教授	37年	
岩田 仲生	精神科	教授	34年	
吉川 哲史	小児科	教授	37年	
井上 幹大	小児外科	教授	26年	
須田 康一	総合消化器外科	教授	23年	
高木 靖	心臓血管外科	教授	38年	
山之内 大	血管外科	教授	23年	
星川 康	呼吸器外科	教授	32年	

日比 八束	内分泌外科	教授	31年
喜島 祐子	乳腺外科	教授	30年
奥本 隆行	形成外科	教授	36年
廣瀬 雄一	脳神経外科	教授	36年
松本 省二	脳卒中科	教授	27年
藤田 順之	整形外科	教授	23年
金子 慎二郎	脊椎外科	教授	25年
杉浦 一充	皮膚科	教授	29年
白木 良一	泌尿器科	教授	39年
剣持 敬	臓器移植科	教授	40年
西澤 春紀	産科・婦人科	教授	26年
伊藤 逸毅	眼科	教授	31年
楯谷 一郎	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	教授	29年
大高 洋平	リハビリテーシ ョン科	教授	26年
外山 宏	放射線科	教授	39年
林 真也	放射線腫瘍科	教授	35年
西田 修	麻酔科	教授	37年
白井 正信	緩和医療科	教授	31年
船曳 知弘	救急科	教授	26年
塚本 徹哉	病理診断科	教授	36年
伊藤 弘康	臨床検査科	教授	29年
大杉 泰弘	豊田市・ 藤田医科大学 連携地域医療学	准教授	19年
吉田 光由	歯科・口腔外科	教授	32年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【臨床工学部】

人工呼吸器研修

輸液関連研修

血液浄化研修

生体情報モニタ研修

保育器研修

除細動器研修

【薬剤部】

新人セミナー

スキルアップセミナー（疾患・領域別セミナー）

【臨床検査部】

臨床検査セミナー（採血の基本 1 血管を探す）

（採血の基本 2 駆血 ）

（採血の基本 3 採血）

（採血の基本 4 採血トラブル）

検査室における患者急変時の対応

接遇研修（風通しの良い職場づくりのためのコミュニケーション）

【放射線部】

放射線治療装置の緊急時取扱い添付

放射線・救急救命勉強会

X線撮影画像カンファレンス

【リハビリテーション部】

実用先進リハビリテーションカンファランス2023 summer 別添資料参照

テーマ：リハビリテーションにおけるリスクマネジメント

リハビリテーションにおける質と安全の管理、急性期リハビリテーション実施中の急変・事故、回復期リハビリテーション病棟の急変・事故、回復期リハビリテーション病棟における転倒の現状とその対策、摂食嚥下のリスクマネジメント

実用先進リハビリテーションカンファランス2024 winter 別添資料参照

テーマ：義肢・装具update

装具の基本的な考え方、装具が歩行に及ぼす効果、重度脳損傷者に対する装具療法、義肢の機能と先端技術

【看護部】

院内認定教育研修 感染看護
院内認定教育研修 認知症ケア
院内認定教育研修 クリティカルケア
院内認定教育研修 糖尿病ケア
院内認定教育研修 緩和ケア
院内認定教育研修 血管内留置カテーテル
院内認定教育研修 静脈レベル3
院内認定教育研修 看護研究支援
遭遇研修
看護の魅力発見研修
ハートリフレクション
ハートリフレクション
ハートリフレクション

・研修の期間・実施回数

【臨床工学部】

2023年4月6日、4月19日、4月20日、6月13日、7月28日、8月22日、10月2日、10月6日、11月8日、11月9日、12月5日、12月27日、2024年1月15日、1月16日、2023年4月1日～2024年3月31日（動画（学びばこ）視聴期間） 計17回

2023年4月1日、2024年1月17日、1月22日、1月23日、2023年4月1日～2024年3月31日（動画（学びばこ）視聴期間） 計4回

2023年6月16日、8月10日、12月25日 計3回

2023年10月12日、10月19日、10月24日、11月16日、2024年1月11日、2月1日、2月19日、2月20日、2月27日、3月14日、2023年4月1日～2024年3月31日（動画（学びばこ）視聴期間） 計14回

2023年5月26日、6月1日、2024年1月24日 計5回

2023年4月18日、4月20日、6月5日、7月13日、2024年2月5日、3月19日、2023年4月1日～2024年3月31日（動画（学びばこ）視聴期間） 計6回

【薬剤部】

11回

12回

【臨床検査部】

2024年3月17日～2025年3月31日

2023年11月2日

2024年1月26日

【放射線部】

2023年6月10日、7月14日、12月23日

2023年4月12日、8月9日、9月13日、10月11日、11月8日、12月13日、2024年2月14日、3月27日

2023年9月21日、11月2日、12月26日、2024年1月9日

【リハビリテーション部】

2023年8月5日

2024年1月20日

【看護部】

2023年6月8日

2023年7月6日

2023年7月13日

2023年8月10日

2023年8月25日

2023年9月27日

2023年6月14日・7月7日・8月9日

2023年8月17日・12月7日

2023年4月21日～2024年4月20日

2023年4月24日・4月27日

2023年6月27日・6月28日・6月29日・7月4日・7月20日・7月26日

2023年9月14日・9月28日

2024年3月14日・3月21日

・研修の参加人数

【臨床工学部】

315名

68名

21名

193名

20名

121名

【薬剤部】

12名

10名 ~ 39名

【臨床検査部】

40名

147名

60名

【放射線部】

18名

161名

46名

【リハビリテーション部】

186名

167名

【看護部】

41名

21名

28名

22名

18名

50名

137名

15名

214名

214名

211名

199名

199名

業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【臨床工学部】

部員教育オリエンテーション

（ア）各種登録

（イ）訓練記録、力量評価、年間目標

（ウ）接遇

（エ）工学部概要

（オ）環境、防災

(カ) 情報システム、個人情報マネジメント

(キ) 感染対策

(ク) 安全管理

(ケ) 業務プロセス

血液浄化療法穿刺研修

補助循環関連研修会

接遇セミナー

【薬剤部】

薬剤師業務に係る研修

医薬品インシデント対策研修

接遇研修

【臨床検査部】

1. 新規採用者研修

部員教育オリエンテーション

(ア) 各種登録、届出等

(イ) 力量評価、年間目標

(ウ) 検査部概要

(エ) 品質マネジメントシステム

(オ) 環境、防災

(カ) 情報システム、個人情報マネジメント、セキュリティ

(キ) 感染対策

(ク) 安全管理

採血研修

夜勤研修

2. 継続的教育研修

2022年度インシデント傾向分析

採血関連教育

精度保証について

毒劇物管理について

【放射線部】

新規採用者オリエンテーション

放射線部KYT研修会

【リハビリテーション部】

新採用者研修：オリエンテーション、藤田医科大学病院のリハビリテーション、ばんだね病院のリハビリテーション、七栗記念病院のリハビリテーション、岡崎医療センターのリハビリテーション、羽田クリニックの概要、個人情報保護とPCセキュリティー、安全管理（感染予防、事故防止）、障害者の社会制度、多職種連携の実際、COSPIRE

【看護部】

臨地実習指導者研修

社会人経験のある新人看護職員サポート研修

ER看護主任研修

MRI研修

中途採用者研修（診療補助）

中途採用者研修（保育士）

中途採用者研修（看護師）

中途採用者研修（クラーク）

診療補助研修 診療補助対象

診療補助研修 看護師対象

パパママサポート研修

マネジメントラダー研修 セル看護提供方式

マネジメントラダー研修 オンデマンド研修

教育担当者研修

介護技術研修 看護管理者対象

介護技術研修 介護福祉士対象

医療放射線安全管理研修

放射線業務従事者教育訓練

・研修の期間・実施回数

【臨床工学部】

2023年4月3日～5日の3日間実施

2023年8月～9月の期間内に、1名に対し5日間実施

2023年5月10日、7月30日、8月1日、9月7日、9月26日、10月27日（計7回）

2023年12月13日（計1回）

【薬剤部】

着任1年間随時

12回

1回

【臨床検査部】

2023年4月3日～12日（17回：土日除く）

2023年4月4日～8月16日（15回：対象期間内に）

2023年8月1日～2024年3月31日（3回）

2023年4月27日

2023年7月27日

2024年1月29日

【放射線部】

2023年4月3日、4月4日、4月5日

2023年7月10日、8月2日、9月2日、9月28日、12月7日

【リハビリテーション部】

2023年4月12日～5月31日までに、藤田学園ポータルサイト内「学び箱」に掲載されている動画を視聴、テストを受け（全問正解で合格）、アンケート回答後受講終了。

【看護部】

2023年10月19日

2023年7月26日

2023年6月～8月

2023年11月6日・11月21日・11月22日・11月27日・11月29日・11月30日

2023年7月3日

2023年7月3日

2023年7月3日

2023年7月3日

2023年7月10日・7月24日・7月27日・7月28日・7月31日・8月1日・8月3日・8月4日・8月7日・

8月8日・8月15日・9月12日・9月13日

2023年6月27日・6月28日・6月29日・7月4日・7月20日・7月25日・7月26日・7月28日・8月1日

2023年6月23日・7月11日

2023年5月16日

2023年5月22日・5月26日・5月29日・5月31日・6月2日

2023年6月7日・9月13日

2023年9月6日

2023年10月4日

2023年11月14日～12月14日

2023年12月5日～2024年2月15日

・研修の参加人数

【臨床工学部】

5名

5名

43名

16名

【薬剤部】

12名

127名

127名

【臨床検査部】

17名

16名

13名

136名

148名

142名

【放射線部】

15人

74名

【リハビリテーション部】

43名

【看護部】

53名

3名

18名

7名

1名

2名

2名

3名

306名

242名

10名

63名

59名

80名

5名

4名

39名

21名

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

【臨床工学部】

なし

【薬剤部】

がん専門薬剤師認定要件に準じた研修

がん連携セミナー

調剤薬局連携研修

【臨床検査部】

腹部エコー 心臓エコー、乳腺エコー

尿沈渣スキルアップ

血液増スキルアップ

【放射線部】

なし

【リハビリテーション部】

第10回 STのための嚥下実習講習会 Basicコース:CDSS *別添資料参照

摂食嚥下障害についての講義と実習形式にて講習（研修）会を開催

講義：総論（解剖・生理・運動学習）、診断（評価・重症度）、訓練（代償・機能改善・嚥下
技）、歯科アプローチ

実習：訓練手技、VF・VEによる評価練習

【看護部】

なし

・研修の期間・実施回数

【臨床工学部】

なし

【薬剤部】

99回

2回

6回

【臨床検査部】

1 半田市医師会より心エコー検査の見学

1月4日から3月31日までの期間で11日間

2 ばんたね病院より 心エコー研修

9月4日から10月27日までの平日の36日間

3 ばんたね病院より 腹部エコー研修

1月4日から3月31日の週1回で12日間

4 羽田より心エコーと乳腺エコーの研修

1月15日から18日までの4日間

岡崎医療センターより

8月28日～9月1日の5日間

岡崎医療センターより

9月21日～27日までの5日間

【放射線部】

なし

【リハビリテーション部】

2023年7月15日(土)～16日(日)

【看護部】

なし

・研修の参加人数

【臨床工学部】

なし

【薬剤部】

1名

192名

120名程度

【臨床検査部】

各1名

【放射線部】

なし

【リハビリテーション部】

43名

【看護部】

なし

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 白木 良一
管理担当者氏名	事務部長 成田 達哉 総務室長 工藤 靖博 医療事務室長 坂田 裕介 入院医事課長 鈴木 健太 外来医事課長 蟹江 千明 人事部労務課長 小島 克之 安全管理室長 伊東 昌広 感染対策室長 本田 仁 薬剤部長 山田 成樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	診療録管理室
		手術記録	診療録管理室
		看護記録	診療録管理室
		検査所見記録	診療録管理室
		エックス線写真	診療録管理室
		紹介状	診療録管理室
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・外来カルテ、入院カルテ共に電子カルテとしている。 ・保存期間は外来カルテは最終外来受診日より10年、入院カルテは最終退院日より20年且つ最終外来受診日より5年としている。 ・エックス線写真の保存期間は撮影年の開始後5年としている。 ・「藤田医科大学病院における患者個人情報保護に関するガイドライン」に基づき、診療録を含む患者個人情報については原則持出を認めていない。職務遂行上やむを得ず持ち出す必要がある場合は、匿名化・暗号化等配慮を行った上で、個人情報管理責任者(病院長)へ「患者個人情報の持ち出し届」を提出する。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事部
		高度の医療の提供の実績	外来医事課 入院医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院総務課
		高度の医療の研修の実績	病院総務課
		閲覧実績	病院総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	外来医事課 入院医事課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	外来医事課、入院医事課 薬剤部	
規則第一條の第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理室	

		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	インフォームド・コンセント委員会 庶務担当者
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報システム部
		医療安全管理部門の設置状況	安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	病院総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	法人本部総務部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	法人本部総務部
		職員研修の実施状況	安全管理室 感染対策室 等
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	安全管理室 薬剤部 臨床工学部 等
管理者が有する権限に関する状況	病院総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 成田 達哉
閲覧担当者氏名	総務室長 工藤 靖博
閲覧の求めに応じる場所	・応接室
閲覧の手続の概要	
・管理運営関係、診療関係	
1. 閲覧申し込み	閲覧申込書を総務課に提出する。
2. 承認者	事務部長
3. 閲覧方法	指定した日時に応接室で行う。
4. 返納方法	当日返納とし、総務課へ返納する。

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理責任者の配置 ・ 医療に係る安全の確保を目的とした改善の為の方策 ・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
<p>医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（☑・無） ・ 開催状況：年 30 回 ・ 活動の主な内容： <p>医療問題対策委員会（月1回）：医療事故及び医事紛争の予防対策等の推進、安全管理統計報告、有害事象報告、MET要請状況報告、院内患者死亡報告状況、患者相談窓口からの報告、医療の質管理室報告</p> <p>事故防止対策委員会（月1回）：事故の防止と安全管理上の体制の確保及び推進</p> <p>セーフティマネージャー連絡会（偶数月1回）：医療問題対策委員会の審議結果など、医療安全に関する情報を連絡・共有する</p> 	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 全員必須の研修会：安全管理研修会（年2回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度 第1回 安全管理研修会 『安全な医療を提供するための当院の取組について』：病院職員受講者数3,418名 ・ 2023年度 第2回 安全管理研修会 『医療安全：臨床倫理的視点から考える』：病院職員受講者数3,418名 その他研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度 新教職員オリエンテーション：病院新採用者435名、その他新規採用者35名 ・ 医療安全緊急集会：1,063名 ・ 経鼻胃管チューブ挿入方法について：1,602名 ・ 経管栄養チューブのXpでの確認の仕方：829名 ・ 2023年度 医療の質・安全対策部 報告会：225名 	
<p>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（☑・無） 医療事故防止マニュアルが平成12年5月1日に発行され、事故防止委員会 	

で編集している。昨年度も事故防止委員会で編集し、令和6年（2024年）6月11日に改訂している。

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
事故防止対策員会にて改善策を検討し、医療問題対策委員会へ報告、承認を得ている。事例によっては、院内事例検討会や医療安全カンファレンスを開催し改善策を検討している。部署での改善が必要な場合には、安全管理室より対象部署の責任者またはセーフティマネージャーへ、検討指示書を作成し改善策の提示を依頼している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>医療関連感染防止対策指針（令和6年4月1日改訂）</p> <p>第1条 医療関連感染防止に対する基本的な考え方</p> <p>第2条 医療関連感染防止対策の組織に関する基本的事項</p> <p>第3条 医療関連感染防止対策のための研修に関する基本方針</p> <p>第4条 感染症発生状況の報告に関する基本方針</p> <p>第5条 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>第6条 医療関連感染防止対策指針の閲覧に関する基本方針</p> <p>第7条 その他の医療関連感染防止対策推進のために必要な基本方針</p>	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年 30 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染防止対策委員会（年 12 回）</p> <p>感染防止対策実務小委員会（年 11 回）</p> <p>感染防止対策担当者会（全 6 回）</p> <p>手指衛生などの標準予防策や感染経路別予防策の遵守状況確認を目的とする定期的院内巡視</p> <p>医療関連感染防止対策の立案と実施、評価、改善</p> <p>サーベイランス報告に対する評価</p> <p>医療関連感染発生時に原因の疫学的調査及び分析</p> <p>抗菌薬適正使用支援チームに関する事項</p> <p>滅菌や消毒の標準化</p> <p>食品管理</p> <p>感染対策実施訓練の立案と評価</p> <p>建築物工事に伴う感染対策</p> <p>耐性菌など細菌検出情報の共有と対策の立案 実践院内感染防止対策マニュアルの作成及び改訂</p> <p>地域連携カンファランスへの参加と医療関連感染対策に関する相談</p> <p>その他医療関連感染防止</p>	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新教職員オリエンテーション：病院新採用者 435名、その他新規採用者 35名 ・ 手洗い研修： 2397名 2023/6/22、23、26、27、29 ・ 感染防止対策研修会（年2回） 3418名 第1回：2023/6/30 3418名 第2回：2024/2/27 ・ 医療の質・安全対策部 報告会 225名 2024/3/27 	
<p>感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p>	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染防止対策委員会：月 1 回</p> <p>感染防止対策実務小委員会：月 1 回</p> <p>感染防止対策担当者会：奇数月</p>	

臨床教授会：月1回
診療連絡会：月1回
衛生委員会：月1回
ASTカンファレンス：週1回

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ ハイアラート薬研修 ・ 医薬品安全管理研修（医師向け）・・・処方オーダー時の注意点 ・ 医薬品安全管理研修（看護師向け）・・・薬品使用時、保管時の注意点 ・ 医薬品安全管理研修（薬剤師向け）・・・全般 ・ 研修医対象研修（毎月開催）・・・疑義照会事例、薬剤関連トピックス 	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成（有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 手順書に沿った業務の確認をチェックリストを用いて実施 	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 3, 4-ジアミノピリジンのランバート・イートン筋無力症候群への使用 ・ 安息香酸ナトリウム・シトルエンの高アンモニア血症への使用 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ ベンゾジアゼピン系薬剤の使用量削減 ・ 高濃度カリウム製剤の安全使用体制の確認 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																								
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 100 回																								
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>・人工呼吸器関連</td> <td>: 17回</td> <td>・除細動装置関連</td> <td>: 6回</td> </tr> <tr> <td>・保育器関連</td> <td>: 5回</td> <td>・血液浄化装置関連</td> <td>: 3回</td> </tr> <tr> <td>・補助循環・人工心肺関連</td> <td>: 8回</td> <td>・放射線照射装置関連</td> <td>: 9回</td> </tr> <tr> <td>・高エネルギー放射線発生装置関連</td> <td>: 10回</td> <td>・その他</td> <td>: 42回</td> </tr> </table> <p>(職種・人数：医師：69名、看護師：602名、その他：339名 合計1,412名)</p>		・人工呼吸器関連	: 17回	・除細動装置関連	: 6回	・保育器関連	: 5回	・血液浄化装置関連	: 3回	・補助循環・人工心肺関連	: 8回	・放射線照射装置関連	: 9回	・高エネルギー放射線発生装置関連	: 10回	・その他	: 42回								
・人工呼吸器関連	: 17回	・除細動装置関連	: 6回																						
・保育器関連	: 5回	・血液浄化装置関連	: 3回																						
・補助循環・人工心肺関連	: 8回	・放射線照射装置関連	: 9回																						
・高エネルギー放射線発生装置関連	: 10回	・その他	: 42回																						
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																									
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>・人工呼吸器</td> <td>・</td> <td>12,735件 (内定期点検 551件)</td> </tr> <tr> <td>・輸液関連機器</td> <td>・</td> <td>36,114件 (内定期点検 1,644件)</td> </tr> <tr> <td>・補助循環関連装置</td> <td>・</td> <td>102件 (内定期点検 48件)</td> </tr> <tr> <td>・血液浄化関連装置</td> <td>・</td> <td>1,531件 (内定期点検 61件)</td> </tr> <tr> <td>・閉鎖式保育器</td> <td>・</td> <td>40件 (内定期点検 40件)</td> </tr> <tr> <td>・生体情報モニタ</td> <td>・</td> <td>1,504件 (内定期点検543件)</td> </tr> <tr> <td>・除細動装置</td> <td>・</td> <td>629件 (内定期点検149件)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・</td> <td>14,700件</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計67,355件</p>		・人工呼吸器	・	12,735件 (内定期点検 551件)	・輸液関連機器	・	36,114件 (内定期点検 1,644件)	・補助循環関連装置	・	102件 (内定期点検 48件)	・血液浄化関連装置	・	1,531件 (内定期点検 61件)	・閉鎖式保育器	・	40件 (内定期点検 40件)	・生体情報モニタ	・	1,504件 (内定期点検543件)	・除細動装置	・	629件 (内定期点検149件)	・その他	・	14,700件
・人工呼吸器	・	12,735件 (内定期点検 551件)																							
・輸液関連機器	・	36,114件 (内定期点検 1,644件)																							
・補助循環関連装置	・	102件 (内定期点検 48件)																							
・血液浄化関連装置	・	1,531件 (内定期点検 61件)																							
・閉鎖式保育器	・	40件 (内定期点検 40件)																							
・生体情報モニタ	・	1,504件 (内定期点検543件)																							
・除細動装置	・	629件 (内定期点検149件)																							
・その他	・	14,700件																							
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																									
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内医療機器不具合報告書の運用(データの収集、解析、フィードバック)による再発防止。 ・医療機器の機種標準化による操作ミス防止。 ・医療機器の返却と貸出の動線を区別する事による間接接触感染防止。 ・人工呼吸回路の吸気・呼気チューブの色を、青と白に分けると共に、呼吸器本体の吸気側、呼気側にも同色シールを貼付する事による回路誤接続防止。 ・「点検・整備済みシール」の運用による使用後点検実施率の向上。 ・臨床警報装置(アラーム機器)管理として生体情報モニターおよび人工呼吸器のアラーム基準を設定した。生体情報モニターは当院独自のアラーム基準(FEWS:Fujita Early Warning Score)を作成し使用。また、生体情報モニターは装着および取り外し基準を設け、適切な機器運用に努めている。 ・輸液ポンプ使用時のフリーフロー防止のための安全機構が備わっている輸液ポンプを導入。 																									

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・<input type="checkbox"/>歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>・医療安全管理責任者は、医療の質・安全対策部部長担当の副院長である。</p> <p>・医療の質・安全対策部長は、安全管理室、感染対策室、医療の質管理室を統括している。</p> <p>・安全管理室、感染対策室、医療の質管理室長は専従の医師が担当している。</p> <p>・薬剤部長を医薬品安全管理責任者、臨床工学部副部長を医療機器安全責任者としており、両者とも安全管理室員としている。</p>	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 8 名）・無
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>PMDA, 医薬品関連サイト等より入手し、院内状況に合わせて情報提供をしている。月に1回の情報誌の発行、その他随時案内</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>申請書の内容に応じ、情報収集し、是非の判断、必要な安全対策の検討を行っている。</p> <p>申請のない適応外使用を把握した場合には、適否を調査し、申請を依頼している。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部医薬品情報管理室 ， 職種 薬剤師 ）</p> <p>（所属：医療の質安全管理部 安全管理室 ， 職種 薬剤師 ）</p>	
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ <input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無 ）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>: ガイドラインでは、説明において、医療サイドでは医師、看護師と必要に応じて、理学療法士、栄養士、薬剤師など他職種が同席し、患者サイドでは、患者本人、親族、キーパーソンが同席し、説明内容と参加者、患者側の説明に対する理解度、反応をICタグに記載することが記載されている。</p>	

また、月に一度診療記録監査を実施している。定期的にインフォームドコンセントの実施状況を確認し、不十分である場合は紙面にて指導を行い、十分に出来ている場合は評価をしている。

診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者は、診療情報システム委員会委員長井澤英夫教授である。</p> <p>本委員会では、全ての退院患者を対象に診療録管理室が実施している監査項目のうち、退院サマリの作成率（退院後7日、14日以内）を毎月報告、それ以外の項目は3ヶ月ごとに結果を報告している。また、診療録の記載内容の監査として、各診療科から毎月4名ずつ患者を抽出し、本委員会の委員である医師、看護師、医療技術職、診療情報管理士による多職種がチェックシートを用いて監査を行い、3ヶ月に一度、委員会で結果を報告している。</p> <p>なお、これらの監査結果のうち、記録が特に不足しているものについては、診療科の教授や対象者に対して個別にフィードバックと指導を行い向上に取り組んでいる。</p>	
医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>【安全管理室】</p> <p>・所属職員：専従（ 9 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 10 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 7 ）名 うち薬剤師：専従（ 4 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名 うち看護師：専従（ 2 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名</p> <p>【感染対策室】</p> <p>・所属職員：専従（ 6 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名 うち薬剤師：専従（ 0 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 0 ）名 うち看護師：専従（ 5 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名</p> <p>【医療の質管理室】</p> <p>・所属職員：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 2 ）名 うち医師：専従（ 0 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名 うち薬剤師：専従（ 0 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名 うち看護師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名</p>	

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

【安全管理室】

- ・各委員会等における資料や議事録の作成、保存、その他庶務を行う
- ・医療安全指針及び医療事故防止マニュアル等を見直す
- ・定期的な院内巡視による医療安全対策の実施を確認する
- ・巡視内容(2023年度実績)
 - 2つ以上の識別子による患者確認状況
 - 身障者用トイレタイマー設置状況
 - 口頭指示状況
 - 輸液ルート使用状況
- ・セーフティマネージャーの活動を統括する
- ・院内死亡例の情報把握、検討及び結果の医療問題対策委員会に対する報告を行う
- ・安全管理研修会、及び医療安全に関する研修会等の企画及び実施、評価を行う
- ・医療事故を防止するために、インシデント報告書の内容確認、情報収集、現場確認及び分析を行い、対策を立案する
- ・重大事例発生時における、事故内容の把握と対応状況の確認、診療に関する記録の確認や、患者や家族への対応指導を実施する
- ・重大事例発生時における、関係診療科を含めたミーティング、院内事例検討会、外部有識者を加えた医療事故調査委員会等を開催する
- ・医療事故に対する再発防止策の立案や関係部署への実施支援および効果確認を行う。また、必要に応じて外部調査機構へ報告する
- ・医療安全の意識について職員にモニタリング調査を実施したり、意識向上の為の啓発活動や研修会等を実施する

【感染対策室】

- ・手指消毒を含む標準予防策や感染経路別予防の指導と遵守状況の確認を目的とした院内巡視と結果の評価とフィードバック、改善策の立案と実施
- ・医療関連感染症に関する教育の計画と実施
- ・サーベイランスの実施と評価及び改善に向けての検討と指導、ベンチマークデータより高い推移の医療関連感染症に関しての介入の実施
- ・アウトブレイク時の迅速な対応、医療関連感染発生原因の疫学的調査の実施と分析、評価、再発防

止に向けての改善策の立案

- ・ 抗菌薬の適正使用に関するマニュアル整備、薬剤使用量のサーベイランスや診療科ごとの評価と検討、改善案の提案
- ・ 滅菌や消毒に関する現場巡視による確認と指導
- ・ 食品管理に関する現場巡視による確認と指導
- ・ 誤穿刺・粘膜曝露発生時の現場対応に関する相談窓口業務と衛生委員会への助言、誤穿刺対応マニュアルの整備
- ・ 感染対策実施訓練の実施と評価に基づく改善点の検討
- ・ 建築物工事に伴う感染対策の確認と指導
- ・ 耐性菌など細菌検出情報の作成と感染拡大阻止を目標とした対策の決定と実施、関連部署への通知と教育指導
- ・ 実践院内感染防止対策マニュアルの作成及び定期的な改訂作業の実施
- ・ 地域連携カンファレンスの企画と実施、近隣または連携施設からの医療関連感染対策に関する相談窓口業務と支援
- ・ その他の医療関連感染防止対策に関する審議全般

【医療の質管理室】

- ・ 院内全部署および院内共通の医療の質改善指標の設定、改善活動支援
- ・ 国際患者安全目標（患者確認、コミュニケーション、薬剤管理、手術安全、感染制御、転倒転落予防）の指標設定および測定・改善活動支援
- ・ 患者安全・医療の質向上に資するデータの測定、分析支援
- ・ 現場で生じる課題に対するシステム分析支援
- ・ 倫理コンサルテーションチーム運営

平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 24 件）、及び許可件数（ 24 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術と判断される医療の提供が行われる可能性が生じた場合、申請を求める。
申請の内容を評価委員会へ審議依頼し、実施の適否を検討し判断する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (・ 無)

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (12 件)、及び許可件数 (12 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (・ 無)
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 未承認医薬品の使用状況調査、それにかかわる情報収集、適切な使用条件の提案
 - ・ 定期的な使用状況調査
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 1,362 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 306 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容(当院は「医療問題対策委員会」)
 - ・ 医療事故及び医療事故及び医事紛争の予防対策の検討及び推進
 - ・ 医療事故及び医療事故及び医事紛争の対応方法、情報交換、教育・研修
 - ・ 院内死亡報告に関する事項
 - ・ 患者相談窓口からの苦情、相談等に関する事項
 - ・ 事故防止対策委員会からの提出議題の審議
 - ・ 医療事故調査委員会、事例検討会における検討事項に関する対応等

<p>他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（ <input checked="" type="checkbox"/>（病院名： 愛知医科大学病院 ）・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ <input checked="" type="checkbox"/>（病院名： 愛知医科大学病院 ）・無） ・技術的助言の実施状況 特段の助言無し
<p>当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 <ul style="list-style-type: none"> ・患者からの苦情・相談に適切に応じるため、患者相談窓口を設置している。総務室長を責任者とし、専任の総務課員が担当する。平日・土曜日の時間内の対応については専任の総務課員が担当し、時間外および日曜日・祝祭日においては事務日当直者が対応、その後、相談窓口の専任総務課員に引き継ぎを行う。 ・患者、家族等から受けた苦情・相談は責任者に報告するとともに、必要に応じて関係部署に報告し、速やかな解決に向けた連絡調整を行う。医療安全対策が必要であると考えるものについては病院長へ直ちに報告する。 ・苦情・相談により患者、家族等が不利益を受けないように適切な配慮を行う。相談は希望に応じ個室で聴取し、プライバシーに配慮する。内容は秘密保護に努める。

<p>職員研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> 【医療の質安全対策部】 ・医療の質・安全対策部 報告会 225名 2024/3/27 ・手洗い研修 2,397名 2023/6/22、23、26、27、29 【診療録記載等】 <p>新入教職員を対象に電子カルテの操作研修を実施している。また、診療記録の記載基準については、電子カルテシステムに公開している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【インフォームドコンセント・高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等・監査委員会・公益通報】 <p>年1回研修会を実施。今年度も開催予定。</p>

(注) 前年度の実績を記載すること (の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

日本医療機能評価機構 2023年度特定機能病院管理者研修（継続・6時間）

【医療安全管理責任者】

日本医療機能評価機構 2023年度特定機能病院管理者研修（初回・13時間）

【医療機器安全管理責任者】

日本医療機能評価機構 2023年度特定機能病院管理者研修（継続・6時間）

【医薬品安全管理責任者】

日本医療機能評価機構 2023年度特定機能病院管理者研修（継続・6時間）

（注）前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2021年9月3日 日本医療機能評価機構「一般病院3（主たる機能）精神科病院（副機能）」

2021年12月18日 Joint Commission International「Academic Medical Center Hospital」

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院機能評価の結果をホームページにて公表している。

・評価を踏まえ講じた措置

適宜対応している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全確保のために必要な資質及び能力 ・ 藤田医科大学病院を管理運営する上で必要な資質及び能力 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤田医科大学病院ホームページ

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤田医科大学病院ホームページ 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	特別の関 係
湯澤由紀夫	学校法人藤田学園 専務理事 藤田医科大学 学長	○	理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
岩田 仲生	学校法人藤田学園 常務理事 藤田医科大学 副学長 藤田医科大学 医学部長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
藤岡 晃	学校法人藤田学園 常務理事 法人本部 統括事務局長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
金田 嘉清	学校法人藤田学園 理事 藤田医科大学 副学長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
齋藤 邦明	学校法人藤田学園 理事 藤田医科大学 医療科学部長 藤田医科大学 副学長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
堀口 明彦	学校法人藤田学園 理事 藤田医科大学ばんだね病院長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無

眞野 恵好	学校法人藤田学園 理事 藤田医科大学 統括看護部長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
佐藤 貴久	医療法人清水会 理事長 相生山病院 病院長		理事会において選任した学外の有識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
長江 浩幸	南医療生活協同組合 理事長		理事会において選任した学外の有識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ul style="list-style-type: none"> ・診療活動及び院内業務の活性化に関する事項 ・運営合理化に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 <ul style="list-style-type: none"> ・拡大病院幹部会及び臨床系教授会、診療連絡会議で周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) ・公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・藤田医科大学病院ホームページ ・外部有識者からの意見聴取の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
白木 良一	○	医師	病院長
今泉 和良		医師	副院長
廣岡 芳樹		医師	副院長
吉川 哲史		医師	副院長
鈴木 敦詞		医師	副院長
井澤 英夫		医師	副院長
岩田 充永		医師	副院長
藤田 順之		医師	副院長
眞野 恵好		看護師	副院長
廣瀬 雄一		医師	病院長アドバイザー
長谷川 みどり		医師	院長特任補佐
宮原 良二		医師	院長特任補佐
永家 清考		事務	学長特別補佐

山田 成樹		薬剤師	薬剤部長
成田 達哉		事務	病院事務部長
内藤 健晴		医師	監事
服部 啓介		事務	病院機能管理・JCI 対 策室課長
坂田 裕介		事務	医療事務室長
安藤 拓哉		事務	企画広報室長
工藤 靖博		事務	総務室長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法
 - ・ 学校法人藤田学園ホームページ
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長の職務と権限
 - ・ 病院長の予算執行に関する権限
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割
 - ・ 副院長 筆頭副院長 (診療 担当) 今泉 和良
 - (医療の質・医療安全・感染対策・病院機能管理・JCI 担当) 鈴木 敦詞
 - (教育研修・働き方改革 担当) 吉川 哲史
 - (病診連携 (前方) ・国際化 担当) 井澤 英夫
 - (救急医療・災害医療 担当) (高度救命救急センターアドバイザー) 岩田 充永
 - (がんセンター・臨床研究・治験 担当) 廣岡 芳樹
 - (手術部・広報 担当) 藤田 順之
 - (職場環境・接遇・病診連携 (後方) 担当) 藤野 恵好
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 白木病院長 日本医療機能評価機構 2023年度特定機能病院管理者研修
 - ・ 鈴木副院長 日本医療機能評価機構 2023年度特定機能病院管理者研修
 - ・ 山田薬剤部長 日本医療機能評価機構 2023年度特定機能病院管理者研修

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療法に定める「医療の安全の確保」を図るため、医療安全に係る内部統制等が機能しているか等、医療安全管理の取組状況等について、外部監査を行い、必要な是正措置を含む助言や指導を実施する体制を構築する。 <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・公表の方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤田医科大学病院ホームページ 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
稲葉 一人	いなば法律事務所	○	法律に関する見識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
後藤 克幸	CBC テレビ 論説室解説委員		メディアの医療安全に関する見識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
小浮 正典	豊明市長		一般市民の代表者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
堀口 明彦	藤田医科大学 ばんだね病院 病院長		医療に関する学識経験者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1
金田 嘉清	藤田医科大学 保健衛生学部 担当理事		医療に関する学識経験者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
藤田学園法人本部監査室において、業務が法令及び本学園の定める諸規程等に則り、適正に遂行されているかを公平かつ客観的な立場で評価し、その評価結果に基づき助言・提案を行うことによって、業務の改善と効率化、教職員の意識の向上を図り、健全な発展と社会的信頼の保持に資することを目的として活動している。

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法
 - ・ 藤田医科大学病院ホームページ

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 学校法人藤田学園理事に藤田医科大学病院長が選任されており、この理事をもって維持する理事会が置かれている。理事会は、この法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。 ・ 会議体の実施状況 (年 13 回) ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) (年 12 回) ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無) ・ 公表の方法 学校法人藤田学園ホームページ 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 通報件数 (年 0 件)
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 ・ 無)
- ・ 周知の方法
学校法人藤田学園ホームページ

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <ul style="list-style-type: none">・ ホームページにて診療科案内、先端医療の説明、外来医師担当表などの病院概要説明を発信している。・ 患者さん、地域医療機関向けに病院の最新情報を発信するローカルコミュニティ誌を作成し、配布している。また、近隣の自治体の協力のもと各窓口へ設置いただいている。・ 院内ラジオ「フジタイム」にて診療科教授による治療の説明や院内コンサートなど院内の患者さん向けに情報を発信している。・ LINE公式アカウントにて健康レシピや体操など定期的に発信している。・ 年に1回「看護の日」「介護の日」に患者さん、住民向けに健康に対する講話、介護用品の説明などを行っている。・ 「学びネットあいち」、「生涯学習Webナビなごや」にて、地域住民向けに市民公開講座告知、公開授業を行っている。・ 年間1回、診療科の特色や取り組みの鍾愛を目的とした「地域連携ガイドブック(年度版)」、年間3回の外来医師担当表を掲載した「地域連携ガイドブック(簡易版)」を発行し、地域連携医療機関へ配布している。・ 各地域医師会や自治体と協力し、医療者向け医学研究会や市民向け公開講座を共同で開催している。・ 二次性骨折予防管理情報を付加した「大腿骨骨折地域医療連携パス」を当院独自で開発し、近隣の後方連携病院を中心に継続して実施している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要<ul style="list-style-type: none">・ チーム医療として、褥瘡対策チーム、NSTチーム、緩和ケアチーム、精神科リエゾンチームを設け、複数の診療科が連携して治療にあたっている。・ 臓器別に内科と外科が合同カンファレンスを行い、症例検討を行っている。・ 手術時、必要に応じて、複数の診療科医師による合同手術を行っている。・ SCU病棟（脳卒中ケアユニット）では、脳神経内科と脳卒中科共同により、集中治療を行っている。	